

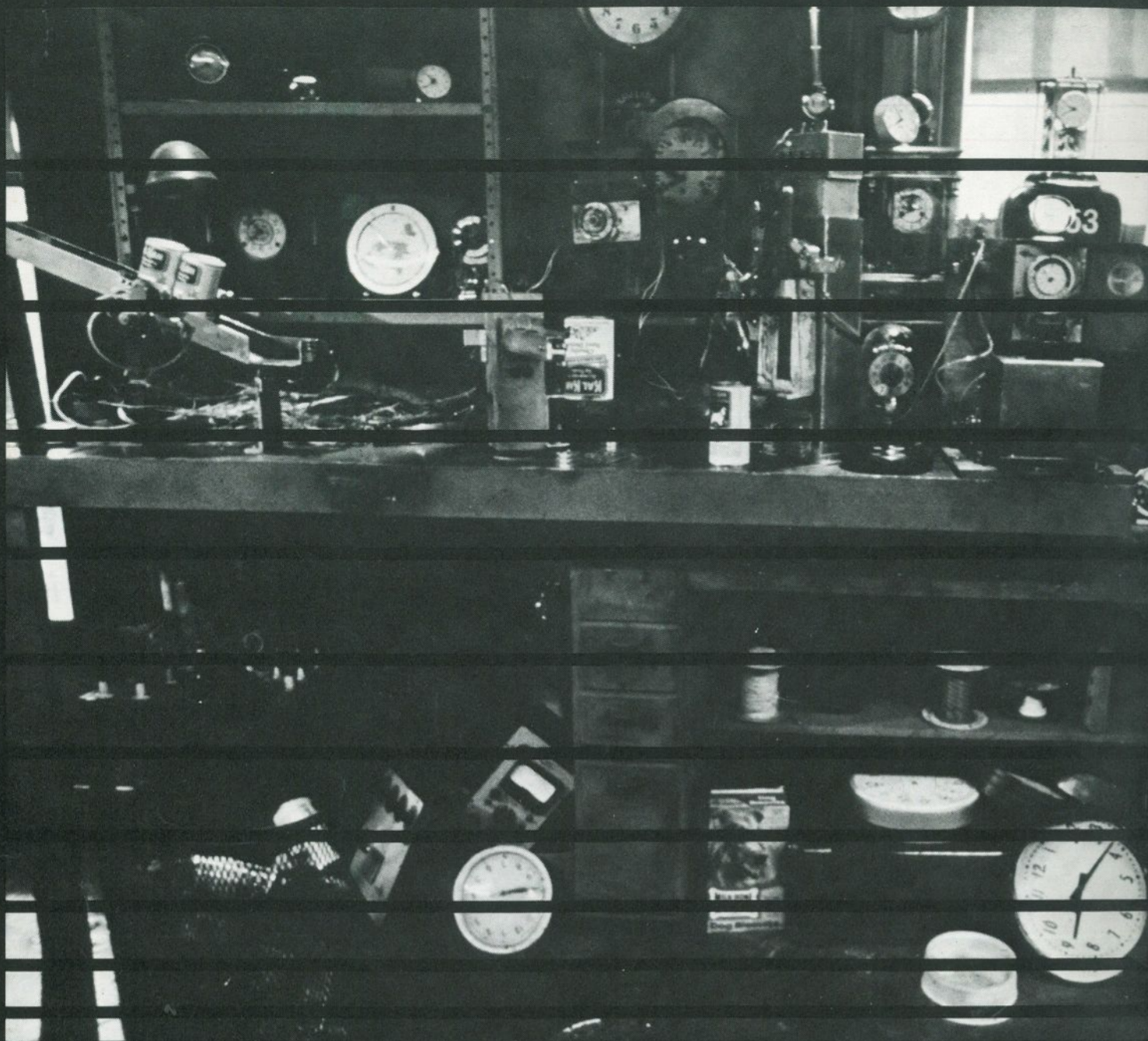
BACK
TO THE FUTURE™



スティーブン・スピルバーグ提供

バック・トゥー・ザ・フューチャー™

ロバート・ゼメキス監督



THE CREDITS

Executive Producers..... STEVEN SPIELBERG
 FRANK MARSHALL, KATHLEEN KENNEDY
 Directed by..... ROBERT ZEMECKIS
 Produced by..... BOB GALE and NEIL CANTON
 Written by..... ROBERT ZEMECKIS and BOB GALE
 Director of Photography..... DEAN CUNDEY
 Visual Effects..... INDUSTRIAL LIGHT & MAGIC
 Music by..... ALAN SILVESTRI
 Makeup Created By..... KEN CHASE

CAST

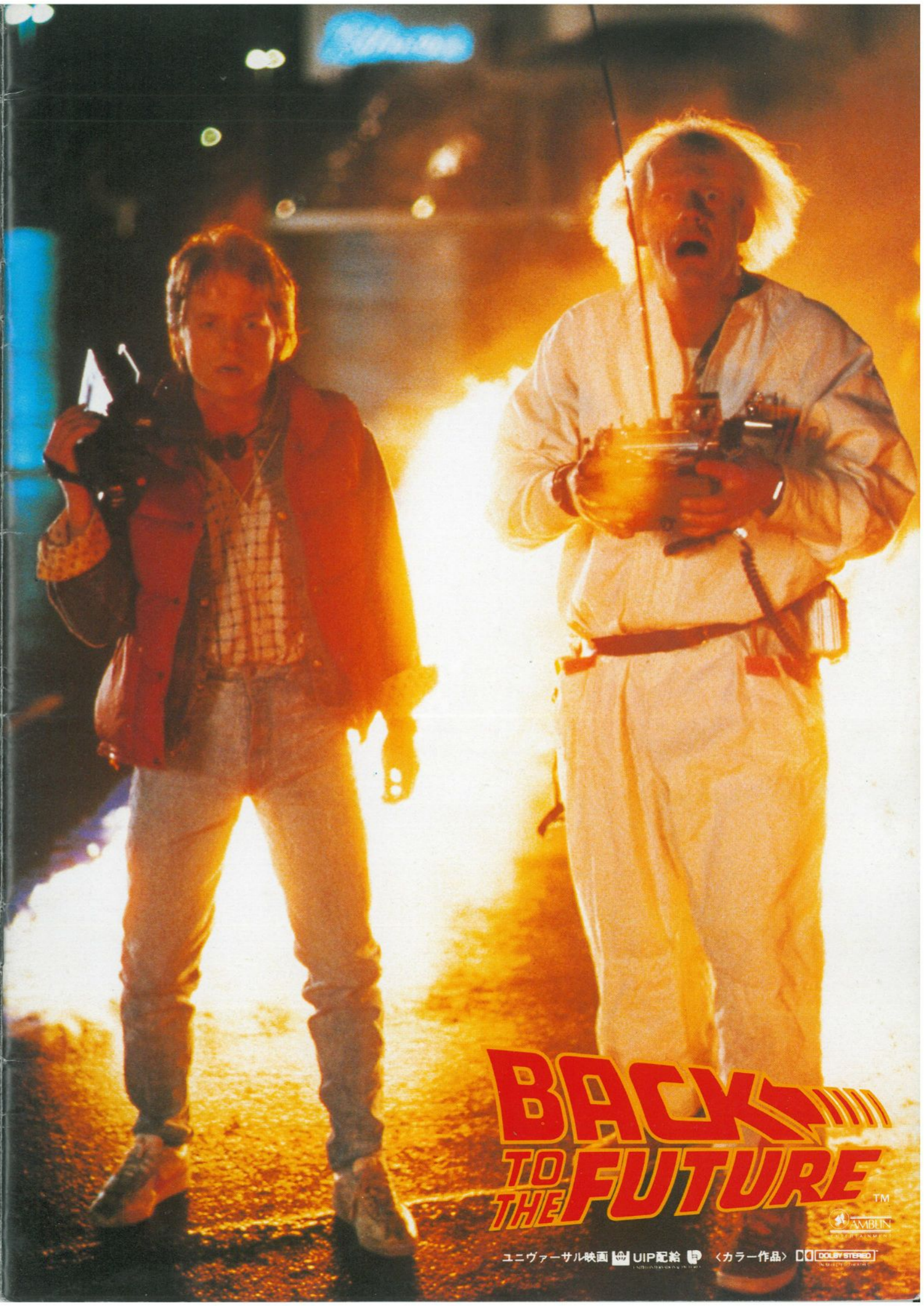
Marty McFly..... MICHAEL J. FOX
 Dr. Emmett Brown..... CHRISTOPHER LLOYD
 Lorraine Baines..... LEA THOMPSON
 George McFly..... CRISPIN GLOVER
 Biff Tannen..... THOMAS F. WILSON
 Jennifer Parker..... CLAUDIA WELLS
 Dave McFly..... MARC McCLURE
 Linda McFly..... WENDIE JO SPERBER
 Sam Baines..... GEORGE DICENZO
 Mr. Strickland..... JAMES TOLKAN
 Goldie Wilson..... DONALD FULLILOVE
 Marvin Berry..... HARRY WATERS JR.
 Match..... BILLY ZANE

スタッフ

製作総指揮..... スティーブン・スピルバーグ
 フランク・マーシャル、キャスリーン・ケネディ
 監督..... ロバート・ゼメキス
 製作..... ボブ・ゲイル、ニール・カントン
 脚本..... ロバート・ゼメキス、ボブ・ゲイル
 撮影..... ディーン・カンディ
 特撮..... ILM(インダストリアル・ライト&マジック)
 音楽..... アラン・シルベストリ
 メイクアップ..... ケン・チェイス

キャスト

マーティ..... マイケル・J・フォックス
 ブラウン博士..... クリストファー・ロイド
 ローレン..... リー・トンプソン
 ジョージ..... クリスピン・グローバー
 ビフ..... トーマス・F・ウィルソン
 ジェニファー..... クローディア・ウェルズ
 デイブ..... マーク・マックルレーア
 リンダ..... ウェンディ・ジョー・スパーバー
 サム..... ジョージ・ディセンゾ
 ストリックランド..... ジェームズ・トルカン
 ウィルソン..... ドナルド・フルーヴ
 マービン..... ハリー・ウォーターズ・ジュニア
 マッチ..... ビリー・ザイン

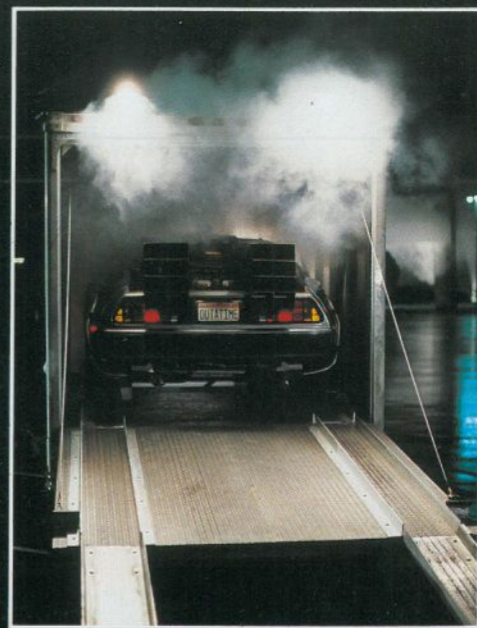
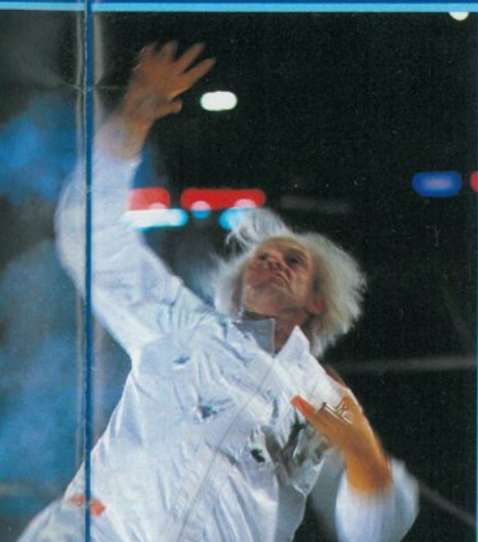
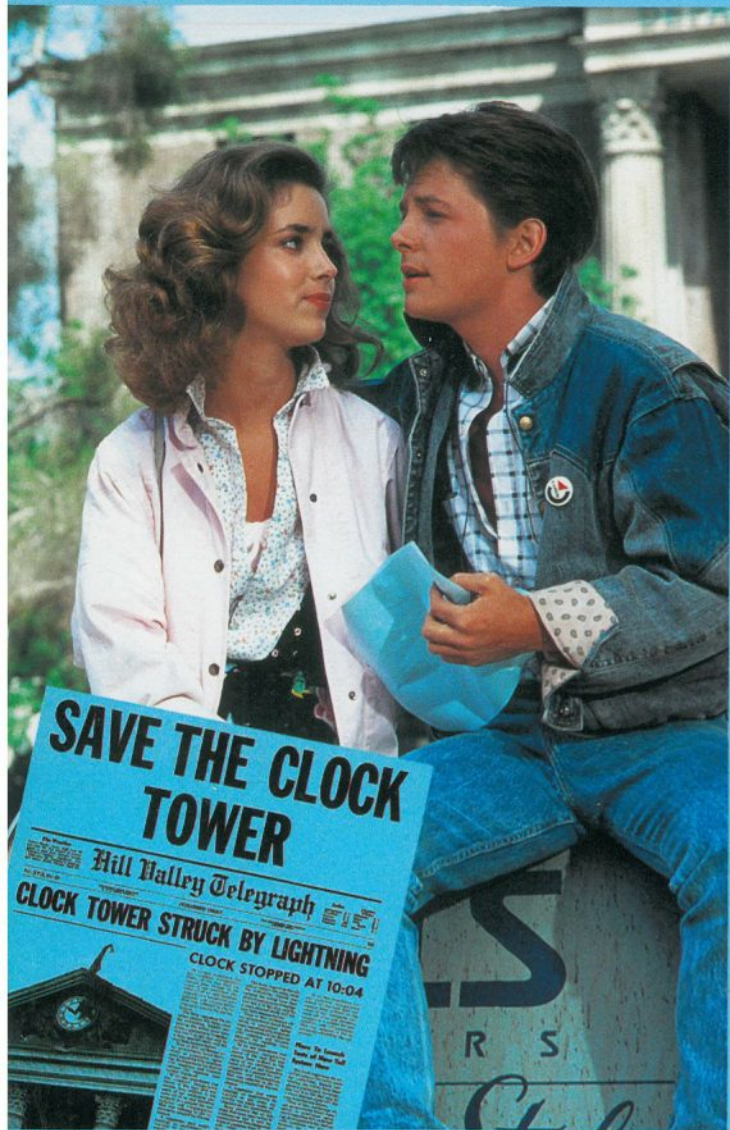


**BACK
 TO THE FUTURE**

BACK TO THE FUTURE™
 © 1985 UNIVERSAL CITY STUDIOS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.
 JAPANESE AGENT-STIK INTERNATIONAL INC. TOKYO.

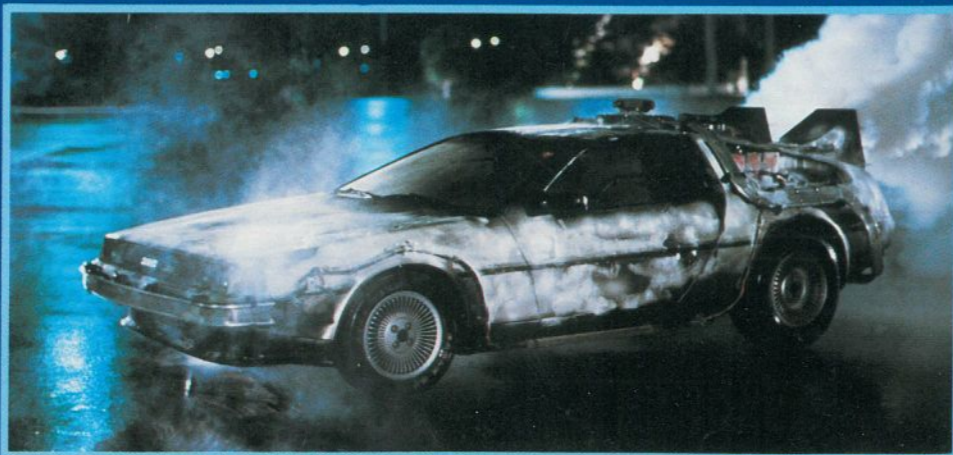
ユニヴァーサル映画 UIP配給 (カラー作品) DOLBY STEREO





'85年10月25日。数多くの時計、電化製品や機械が並ぶ科学者のブラウン博士(クリストファー・ロイド)の研究室。テレビからは、2週間前に原子力研究所でプルトニウムが紛失し、リビアの過激派が犯行を認めたというニュースが流れていた。そこへ、ヒル・バレー高校の3年生でブラウン博士の手伝いをしているマーティ・マクフライ(マイケル・J・フォックス)が現れ、エレキギターをアンプにつなぎ1曲弾こうとした途端、大音響とともにスピーカーに大きな穴があいてしまう。1週間も雲隠れしているブラウン博士が、機械をつけ放しにしていたためオーバーロードしてしまったのだ。そこへ博士から電話が入り、何か秘密の大実験をしているらしく、夜中の1時15分に研究室前のアーケードに来ようマーティに言う電話を切った。

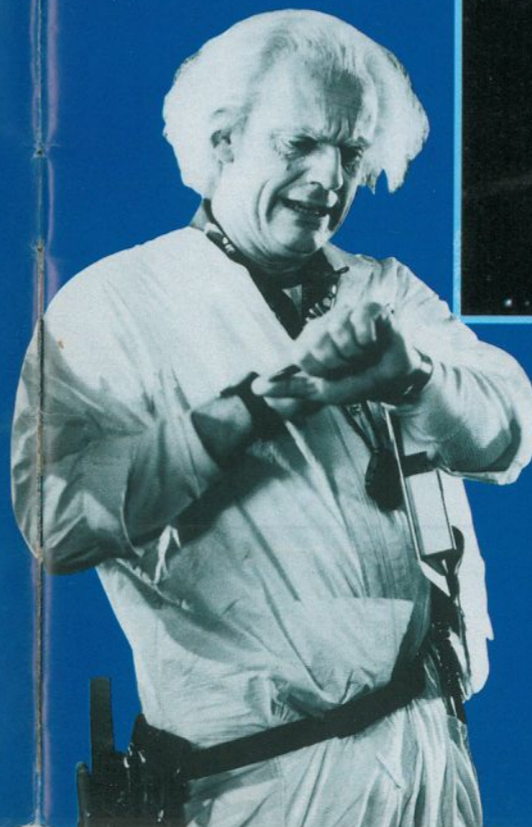
ブラウン博士の研究室の時計が25分遅れていたため、マーティは4日連続の遅刻。ガールフレンドのジェニファー(クロード・ウェルズ)と忍び足で教室へ向かおうとしたのだが、先生に見つかり雷を落とされてしまう。そのせいでもないのだろうが、放課後のバンドのオーディションにも落ちてしまった



マーティをジェニファーは優しくなくさめ、明日の夜、山の湖まで車でデートをすると約束してくれた。やや気分も明るくなりかけマーティが帰宅すると、彼のババのジョージ(クリスピン・グローバー)が、上司のピフ(トーマス・F・ウィルソン)に怒鳴られている。いやーな予感がして話を聞くと、明日のデートに借りるはずだったババの車が壊れたという。ピフは借りた車で事故を起こしたくせに欠陥車を貸したとババにうっかりかかっている。デートも、これでオジャンだ。ピフに一言も言い

返せない気の弱いババ。食事時には、そんなババとの30年前の馴れ初めをママ(リー・トンプソン)が話し始めた。高校生の時、木に登ってバードウォッチング中、木から転落したババをママの家族が車でひいてしまい家に運び込み、やがて落雷のあった夜の“深海のダンス・パーティー”で2人は結婚の約束をする。何十回聞かされただろう、この話は……もう聞きやいられない。

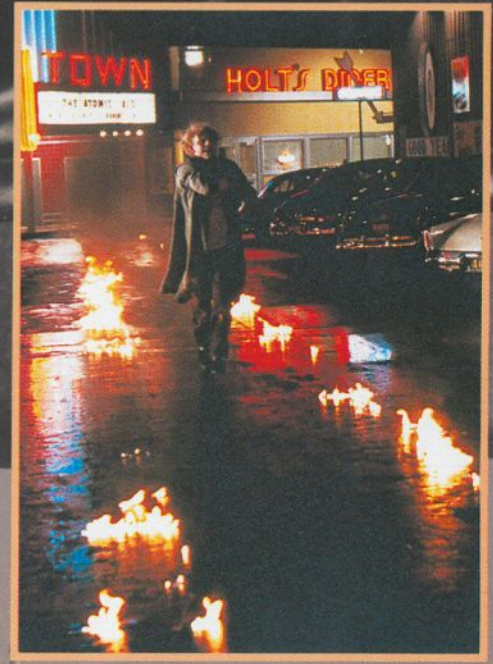
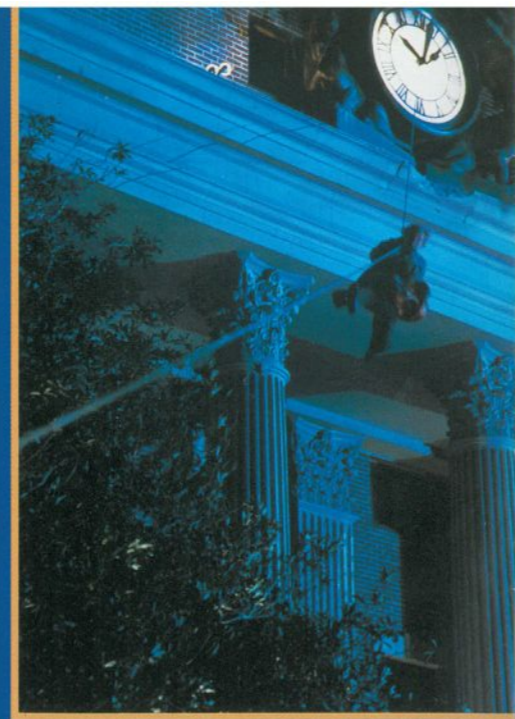
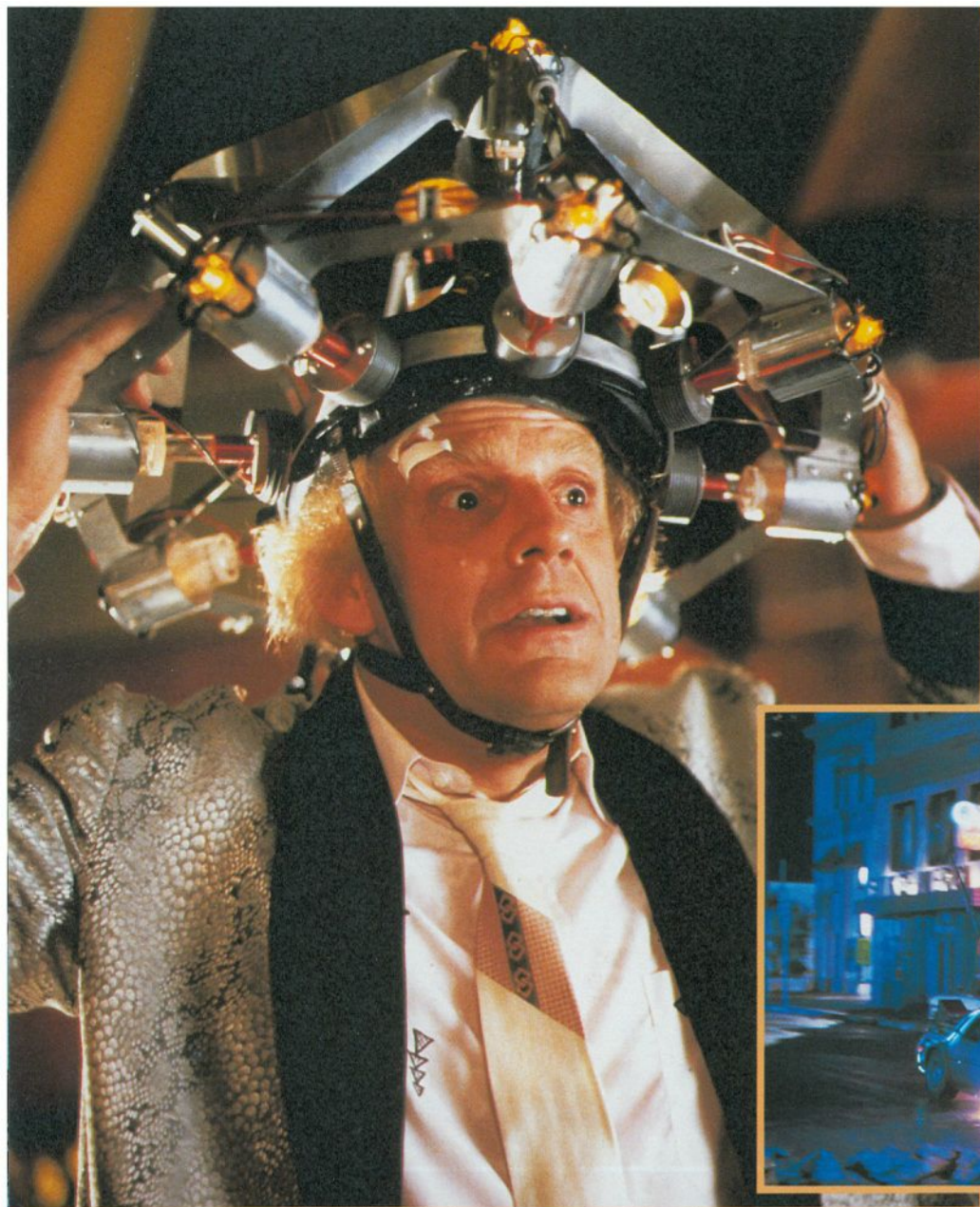
マーティが部屋でうたた寝しているとブラウン博士から電話が入る。研究室前のアーケードに急行したマーティに、ブラウン博士は



驚異の研究成果を披露してくれた。博士の愛車デロリアンを、な、なんとタイム・マシンに改造したのだ。未来でも過去でも、自分の行きたい時間にセットすれば車が時速140キロに達した瞬間にタイム・トラベルできるのだ。ガソリンではなく核燃料のプルトニウムで車は動くときマーティが知らされた時、ブラウン博士めがけて1台の車が突っ込んで来た。ニュースで報じられていたリビアの過激派が、プルトニウムと引換えに博士から役に立たないインチキ爆弾をもらったと知ってしまったのだ。怒り狂った過激派は機関銃を乱

射、博士を射つと、ロケット砲まで持ち出してマーティを狙ってきた。デロリアンに飛び乗ったマーティは急発進させると追撃をかわしながら速度をぐんぐん上げていく。そして140キロに達した時、次元転位装置が作動してデロリアンは、1955年11月5日へとタイム・スリップ!そこは30年前のヒル・バレーの町だった。ロナルド・レーガン主演「パファロー平原」の大きな映画の看板が見える。

なんとか連絡をとろうとレストランに駆け込んだマーティの目の前に、高校生のあのピフが現れ、自分の宿題をやってくれたかと脅



してすこんでいる。隣席で脅されている高校生はなんとジョージ・マクフライ。つまり、マーティのパパだ。そのうえ、その店では30年後に市長となる黒人のゴールディ・ウィルソン（ドナルド・フリーラブ）も働いているではないか。ジョージの後を追ったが見失って街を彷徨するマーティは、木の上に登り双眼鏡で女の子の着換えを覗くジョージを目撃。木から滑り落ちたジョージが車にひかれそうになるところをマーティは助けるが、逆に自分がね飛ばされてしまった。パードウォッチングなんてウソだったのか……。意識を取り戻したマーティの目の前には、魅

力的な高校生ロレーン・ベインズがいた。マーティに一目惚れしたロレーンこそ、マーティの実の母!?時の悪戯とはいえ、こりゃ大変。歴史がメチャクチャになっちゃう。

ブラウン博士を見つけて事情を話し、85年に戻るしかないと考えたマーティは、やっとのことで彼を探し出すが、85年にはロナルド・レーガンが大統領だと話したため博士にとりあってもらえない。次元転位装置を考えついた時にトイレで滑って転び博士が頭に傷をつけたことを思い出したマーティは、やっと、その話で博士を説得することができた。2人で85年に帰る方策を練るが、“プルトニウムの

ない55年で大量の電流を得るには”と言う難題に突き当たってしまう。その時、マーティは85年から持ってきていた印刷物に、次の土曜日の夜の10時4分に時計台に落雷のあったことが示されていることに気づく。これで電流を得るてはずは整ったが、パパとママの問題を解決しなければならぬ。ママからさんさん聞かされていたパパとの出会いは、マーティが現れたためおかしくなってしまった。マーティが持っていた兄と姉と3人で写った写真が、それを証明するように消えかかっている。こうなったら、“深海のダンス・パーティー”までに2人を恋におちさせなければ……。マーティは行動を開始した。ジョージに近づき、ロレーンをダンスに誘うように仕向ける。だが、彼女に気のあるピフは、ロレーンに強引にアタック。ジョージときたら、彼女を誘うきっかけさえ掴めず好きなSF小説の世界に浸りきっている。

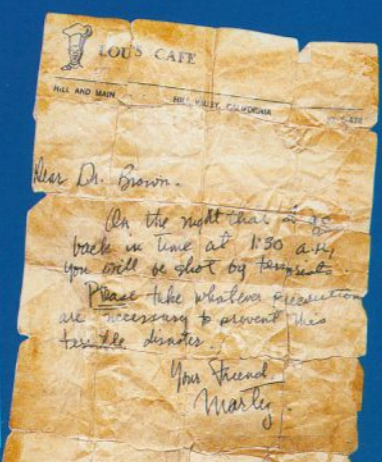
ピフのロレーンに対する口説き方が強烈なため、ジョージを応援するマーティはピフと殴り合いになる。だが皮肉なことにロレーンはそんなマーティに増々魅せられていく。一方ブラウン博士の準備は徐々に整っていた。

そしてマーティは博士に85年10月26日の夜にリビアの過激派に撃たれるという事実を話そうとするが、博士は未来のことを知りすぎると危険なことになってしまうと聞いて聞く耳を持たない。思いあまったマーティは、それをメモし博士の服のポケットに入れることにした。

タイム・スリップの準備は整ったが、ジョージとロレーンのセッティングはできていない。時間がおしめまったため、マーティは、夜の9時にロレーンとパーティ会場に車で行って、いやらしいことを彼女にしようとしたところをジョージが救うという計画を立て、彼

に承諾させた。ところが、駐車場にビフ一派が現れ、マーティは連れ去られてしまった。ビフはロレーンにおおいかぶさっていく。何も知らないジョージは、マーティの計画に従い、ロレーンを救おうとする。

暗雲がたちこめ、雷が鳴り出した。ブラウン博士の方は時計台で準備完了、スタンバイOK。と、その時、思わぬアクシデントが起こった…。果たしてマーティは無事に85年に帰れるか。マーティが持っている写真から、彼の姿はほとんど消えかかっていた……。!!



解説

今年の夏、全米で公開されるや6週間連続で既に1億ドル(約250億円)の興収をあげ、本年度全米ヒットのNo.1を記録して“フューチャー現象”を巻き起こした超話題作の登場である。

時は現代の1985年——マーティは、ロックとダイエット・コーラ、そしてステキなガールフレンドに夢中になっているナウい高校生だ。ある日、手伝いをしているブラウン博士の開発したタイム・マシンに乗ったことから、時の流れに逆らって過去にタイム・スリップしてしまった。

マーティが着いたのは1955年。ロックもないし、大統領のロナルド・レーガンが、まだ現役の映画俳優をやっている時代だ。そこで彼は、2人の高校生に出会う。なんと驚いたことに、この2人は若かりし日のマーティのパパとママだった。マーティが現れたことで両親は恋におちるはずのきっかけを失ってしまう。たいへんだ、これじゃマーティの存在そのものが危うくなってしまふ。しかし、マーティがあせればあせるほど次々にアクシデントが起きて、果たして彼は未来へ、そして現代にもどることができるだろうか……。

「E.T.」、「インディ・ジョーンズ/魔宮の伝説」などの作品で、未嘗有のエンターテイナーぶりを発揮し話題を提供し続けるスティーブン・スピルバーグが、世界中の映画ファンにプレゼントする、底抜けに明るく痛快で空想に満ちたSFアドベンチャーである。

TVで大活躍中の新人マイケル・J・フォックスがタイム・スリップする主人公の少年マーティに扮している他、「スター・トレック3/ミスター・スポックを探せ」、「メル・ブルックスの大脱走」のクリストファー・ロイド、「若き勇者たち」のリー・トンプソン、「りんご白書86」のクリスピン・グローバーといった若手スターが多数出演している。

「ロマンシング・ストーン/秘宝の谷」の演出で一躍脚光を浴びたロバート・ゼメキスと若手作家ポップ・ゲイルのオリジナルをゼメキス自らが監督。撮影は「サイコ2」のティーン・カンディ、プロダクション・デザイナーは「ブレードランナー」のローレンス・ボー

ル、製作は「ウォリアーズ」のニール・カントンとポップ・ゲイル。そして斬新で驚異的なSFXには「E.T.」、「インディ・ジョーンズ/魔宮の伝説」、そして「スター・トレック」シリーズを手掛けたケン・ラルストン率いるILMのSFXチームがあたっている。音楽は「ロマンシング・ストーン/秘宝の谷」のアラン・シルベストリが担当、ヒューイ・ルイス・アンド・ザ・ニュースをはじめ、エリック・クラプトン、フェス・パーカー、フォ



ー・エイセスなどの人気アーティストによる全10曲がバックを飾っている。ゴキゲンなスコアを披露してくれるのも話題で、全米では大ヒット中の曲ばかりだ。

これら一流スタッフを集めた野心作の総指揮にあたったのは御大スティーブン・スピルバーグをはじめ、「インディ・ジョーンズ/魔宮の伝説」、「グレムリン」、「E.T.」、「トワイライトゾーン」と輝くばかりのヒット作でスピルバーグとチームを組んだキャスリーン・ケネディ、フランク・マーシャルと豪華な顔ぶれである。製作にあたってはユニヴァーサル・スタジオとロサンゼルス近郊で撮影が行なわれた。

(1985年度ユニヴァーサル映画・UIP配給、アンブリン・エンターテインメント提供、ロバート・ゼメキス作品、カラー・ビスタサイズ、ドルビーステレオ、7巻、3188m 1時間56分)



バック・トゥ・フューチャー™

9 月下旬、「バック・トゥ・ザ・フューチャー」(85)の宣伝キャンペーンのため初来日。さっそく、宿舎のホテルを訪ね、あれこれ聞いてみた。

「スピルバーグ作品に出演できるなんて、夢にも思わなかった。(出演が)決まったことを知ったとき、正直、信じられなかったよ。……いまは自分の思っていることが、すべて叶うような気がする」とは、マイケル君の弁である。

1961年、カナダ・バンクーバー生まれ。父親は職業軍人。その仕事の関係で、幼い頃から各地を転々としたという。そんなマイケル君の唯一の楽しみといえば、ロックンロールを聞いたり、自分で演奏することだった。「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の脚本を読了した時点で、主人公のマーティ役は自分にうってつけな役柄と合点したそうだ。というのも、マイケル自身、マーティと同じように15、6歳の頃ガレージ・バンドの一員としてギターとロックンロールに狂っていたからだ。映画の中でとくに気に入っている場面は、後半の高校のダンス・パーティーで、のちのチャック・ベリーの「ジョニー・ビー・グッド」をギンギラギンに弾きまくるシーンだという。

ロックンロールに注いでいたエネルギーはやがて、演劇に向けられるようになる。15歳のとき、カナダCBS放送のシリーズもの「レオ・アンド・ミー」LEO AND MEでデビュー。ところが、学校側が学業を続けたいなら、いますぐに俳優活動をやめる／と言ってきた。生来の、負けん気強い性格のため、逆に居直ってしまい、さっさと学校を辞めてしまったそうだ。そして、18歳でロサンゼルスへ出て、本格的に俳優業に専念していった。同時に、名前も現在の(マイケル・J・フォックス)に変えた。ご本名のほうは、マイケル・アンドリュウ・フォックス。アンドリュウをJに変えたわけは、じつに単純明解。なんでも、「俺たちに明日はない」(67)『お前と俺』(70)のマイケル・J・ポラードに憧れているからだそうだ。

「あの頃の僕は、いまとはまるで別人だよ……だいいち、すっごく太っていた」とか。ちなみに、現在160センチ、54キロ。当時は62キロもあったそうだ。この体格に触れて、こうも言っている。

「昔、ホッケーの選手になりたかったことがあるんだ。でも、体の小さいことがマイナスになって……夢は果たせなかった。俳優になってからは、かえって体が小さいことが幸いしている。この映画に主演できたのも、そのおかげでしょう」

82年、テレビ・シリーズ「家族の絆」にアレックス役でレギュラー出演。これがマイケルの評価を決定づけた。

番組当初、マイケルはあまりパツとしなかった。しかし、彼扮するアレックスが童貞を失うエピソードあたりから、じょじょに人気が集まり出し、彼のファンのひとりに、あのスティーブン・スピルバーグがいたのである。この「家族の絆」のマイケル君を見て、今回のマーティ役をオファーしたといわれる。マイケルは当初から、マーティ役の候

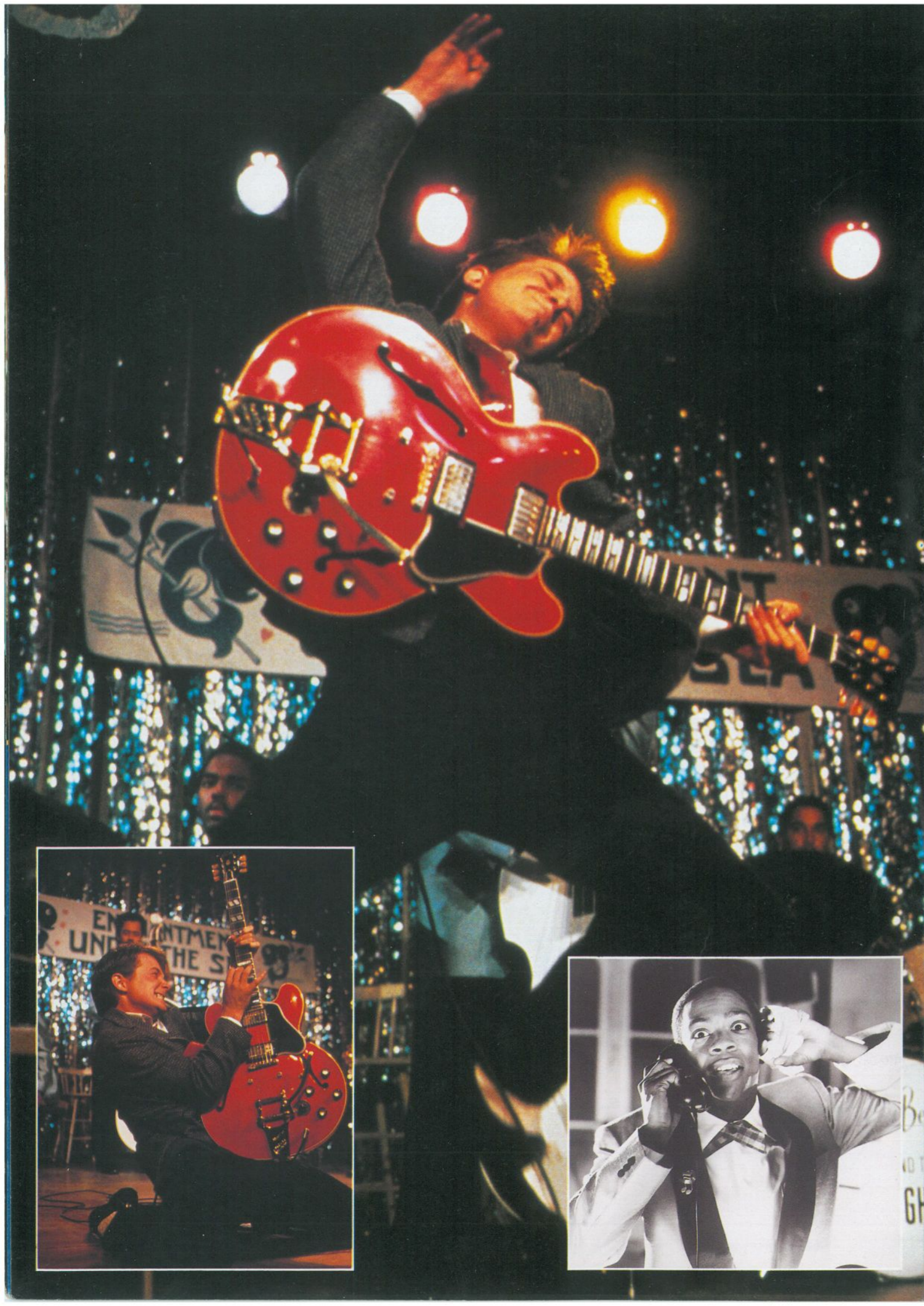
補に挙がっていた。しかし、「家族の絆」のスケジュールの都合で、一時リストからはずされた。代わって、「マスク」(84)のエリック・ストルツが抜擢されたが、撮影開始6週間後に突如、降ろされてしまったために、再びマイケル案が復活したというわけである。

マイケル自身、マーティ役についてこう話す。

「マーティは、高校時代の僕自身によく似ている。まあ、彼のほうが少々ハデだけだね。マーティは映画の中で、多くのことを成し遂げるために命賭けになる。それはちょうど、僕自身が18歳のとき、カナダからアメリカへ移ってきて、いろんなことを経験したのと似ている。あの時の僕も、マーティのように必死だった」ちなみに、メガフォンを取ったロバート・ゼメキス監督は、マイケルについて「彼にはマーティ役に必要なユーモア感覚が満ちあふれている。それは、年に似合わず彼がティーン・エイジャー独特の鋭い感受性を内に秘めているということだ」と話している。

マイケル君、この「バック・トゥ・ザ・フューチャー」で、「2つの夢を叶えることができた」という。

「ひとつは、特殊効果をふんだんに駆使したスピルバーグ映画に主演できたこと。もうひとつは、憧れのロックンロール・スターに少しでも近づくことができたことだね。もう、うれしくて、撮影中から興奮しっぱなしだったよ」ちなみに、先に触れた55年のダンス・パーティーで、マーティのゴキゲンなギター・テクニクに感動したバンド・メンバーの1人が、なんとチャック・ベリー本人



に「探していたサウンドを見つけたよ。ほら聞いてごらん……」と電話するのだ。このバンド・メンバーは、チャック・ベリーのいとこ(甥っ子だったかな?)という設定になっている。これがじつに傑作なのである。

エリック・ストルツに代わって、撮影に参加してきたマイケル君に、ゼメキス監督はさうとう気を使っただけ。無理もない。

「まさか初日から、いままでストルツで撮ったシーンをやりなおすわけにもいかなかった。まず、マイケル本人をこの映画に溶け込ませる必要があった」という。そのため、マイケルの初日は少々奇っ怪な場面からの撮影となった。



「マーティがタイム・マシンに乗って、55年のある農家の納屋へ突っ込んでしまう場面だった。黄色の宇宙服みたいなものを着て、デロリアンから煙とニワトリでいっぱい納屋に降り立つ。あの時、もう足はガクガク、頭には血がのぼるわで、さんざんだった。それに宇宙服のようなあのコスチュームが、やたら重くて暑いんだ。これから先、どうなるのか……気が気じゃなかった」

それでも、この場面のおかげで、マイケル君は映画にも、スタッフやキャストにも「すっかり溶け込めて」といったそうだ。

現在、「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に続く主演第2作『ティーン・ウルフ』(85)も、全米ヒット・チャートの上位を快走中。YAスターの第2世代として、マイケル・J・フォックスは急激に浮上してきた。これからが楽しみだ。

撮

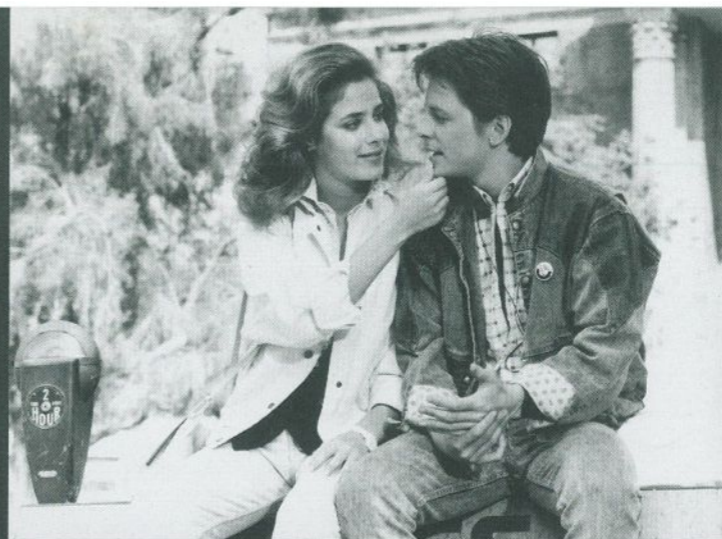
影開始6週目で、エリック・ストルツからマイケル・J・フォックスへと主役が交代したのは、マーティ役に必要なユーモア感覚がストルツに欠けていたからだという。監督、プロデューサー以下主だったスタッフが、ある日同時にそのことに気づいた。ストルツがすぐれた演技者であるがゆえに、フィルムをつなげてみるまで何となく感じていた違和感を表だして口にするものはいなかった。

だれにとっても、勇気のある厳しい選択であった。ゼメキスは、「俳優が死んでしまった、というのでない限り、これほどの災厄はない」と語り、スピルバーグも、「これまでで最も辛い決断だった」と述べている。

テ

レビドラマ出演中のため、一時主役候補のリストからはずされていたマイケルが、新たにキャスティングされた。彼以外にマーティ役を演じられる者はいなかった。かけもち出演で彼のエネルギーが2分されようとも仕方がなかった。話はわずか2日の間に決まり、壊されたセットが建て直され、キャストやクルーが呼び戻され、何百万ドルもの金が費やされて、撮影は再開したのである。

マイケルは6週間の間、昼間は『家族の絆』を撮り、6時から夜中まで「バック・トゥ・ザ・フューチャー」のセットに入るというハード・スケジュールに耐えた。本人は、シュールな体験だったと語っている。

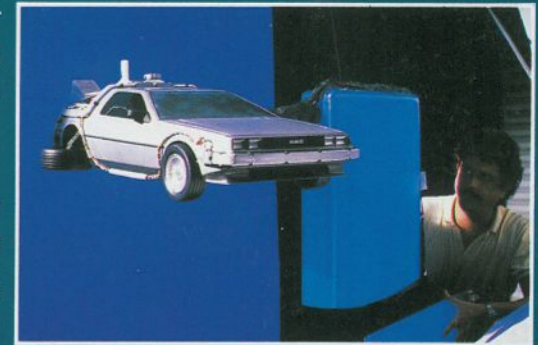


マイケル・J・フォックスとメインスタッフ

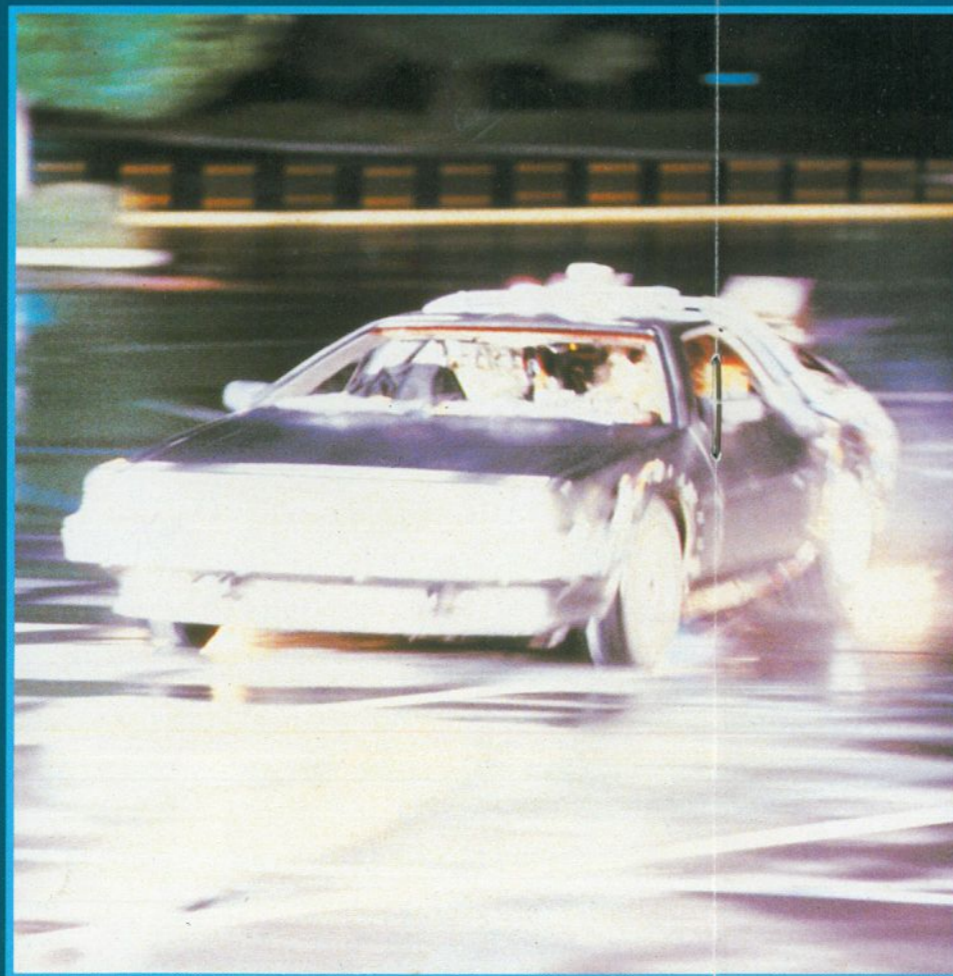
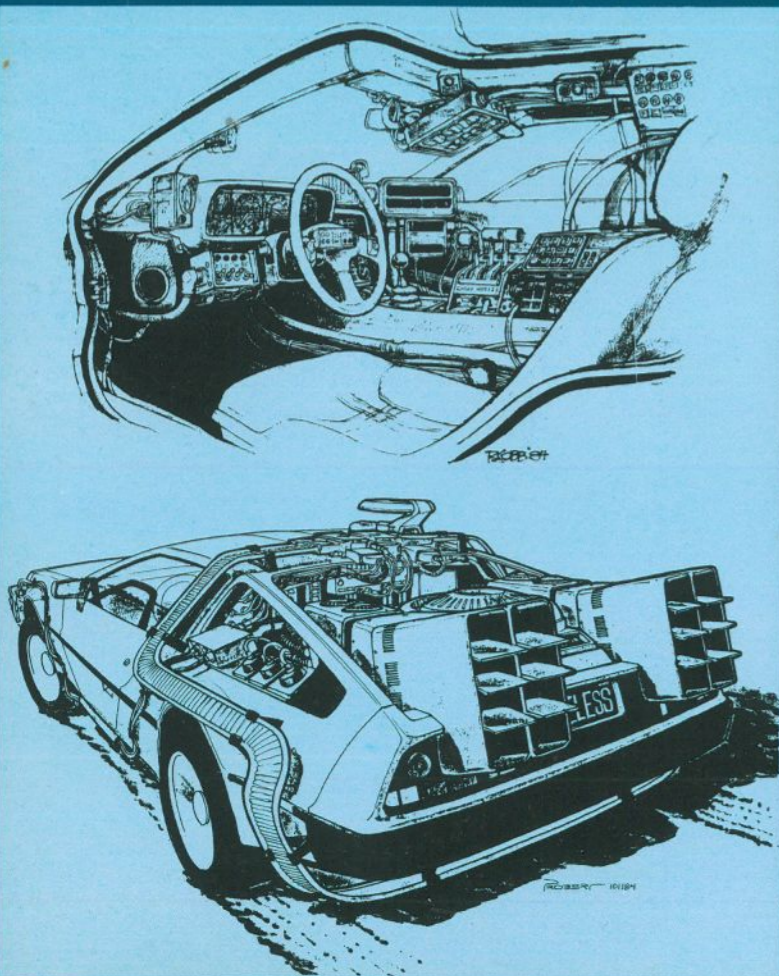
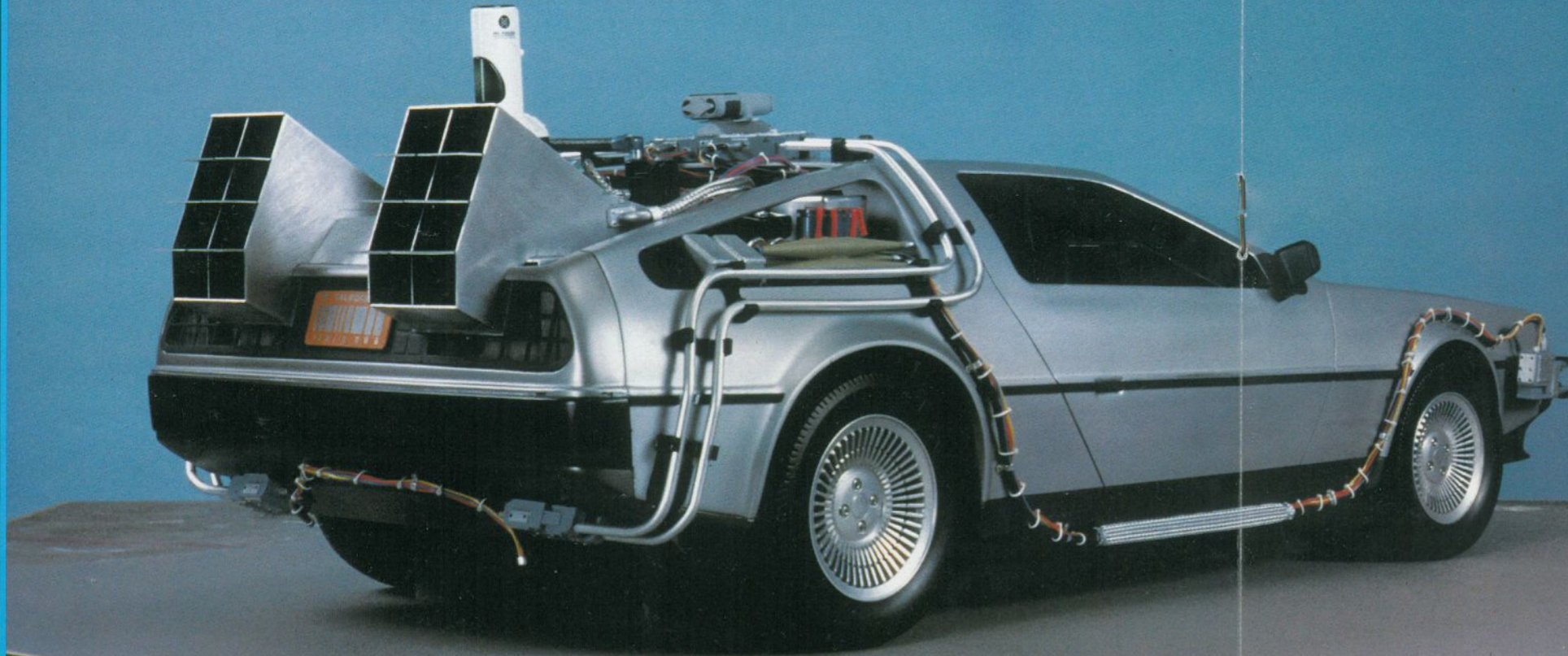
タイム・マシンのニューモデル 原子カデロリアンが時空を駆ける

ゼメキスとゲイルは、このタイム・マシンを考えつくまでに様々な試行錯誤を繰り返した。冷蔵庫の中にタイム・マシンを入れようというアイデアも浮かんだが、子供たちが真似して冷蔵庫に入り、閉じ込められたら困ると考え取りやめた。そんな2人が、カモメの翼の形をしたデロリアンを見た時、これならいけると直感し、スポーツカーの中にタイム・マシンを入れるというアイデアが生まれた。

ゼメキス、ゲイル、プロデューサーのカントンは、「原子カデロリアン」の構想を有能なイラストレーターやコンセプト・アーティストにすべて任せた。3人が彼等に与えた指示は、車を手作りに見せること、原子炉を積載することの2点だけであった。



アーティストのロン・コップ、イラストレーターのアンティ・プロバート、プロダクション・デザイナーのローレンス・ポールは共同で設計に取り組み、理想的なデザインを完成させた。次に自動車建造コーディネーターのマイク・シェフィが、「原子カデロリアン」各部の製造に用いる様々な部品を集めた。特殊効果スーパーバイザーのケビン・バイクと彼のチームは、映画のために購入された3台のデロリアンを部分修正し、タイム・トラベルの準備段階に入った時に炎を放つ火炎噴射器を取りつけた。こうして完成したデロリアンは、かつてH・G・ウェルズが創作したニッケル、象牙、水晶製のものよりも、遥かに技巧的で面白いタイム・マシンとなった。



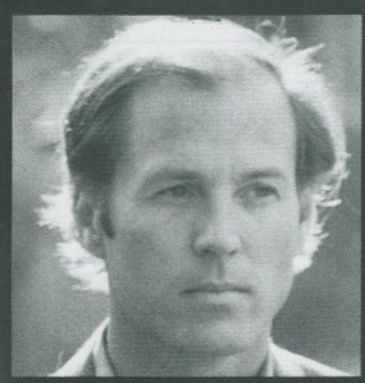
**BACK
TO
THE FUTURE™**



製作総指揮 **STEVEN SPIELBERG**
スティーブ・スピルバーグ

75年の「ジョーズ」をはじめ、「未知との遭遇」(77)「レイダース／失われたアーク」(81)「E.T.」(82)の4作品が、映画興行記録ベストテンの上位を占めるという事実が証明するように、彼の作品は1作毎に爆発的なヒットを飛ばしている。スピルバーグの映像世界はまさに「魔術師」の名にふさわしい。中でも「E.T.」に至っては、映画史上最高の興行記録を樹立し、36歳という若さにもかかわらず娯楽映画第1人者としての地位を確立した。彼は監督ばかりでなく、「ポルターガイスト」(82)では製作、原案、脚本、「グレムリン」(84)では製作総指揮を手がけ、監督、製作、脚本とその活躍は幅広い。又SF映画のみならず、オカルト、コメディ、ドラマなどあらゆるジャンルにわたり、彼の映画に対するアイディアは留まることを知らない。さらに彼は、若手映画人の育成にも力を注いでいる。南カリフォルニア大学(USC)出身のケブ・レイノルズ(「若き勇者たち」(84)の原案・脚本)に新作「ファンタンゴ」の監督をさせ、そして今回の「バック・トゥ・ザ・フューチャー」でも、若いゼメキスの脚本、監督の才能を買い、自らも製作総指揮に当たり大成功を収めた。この作品は、一昨年の大ヒット作「E.T.」のように、誰もが安心して楽しめるSF映画として世界中の映画ファンの期待に答えてくれている。

製作総指揮 **FRANK MARSHALL**
フランク・マーシャル

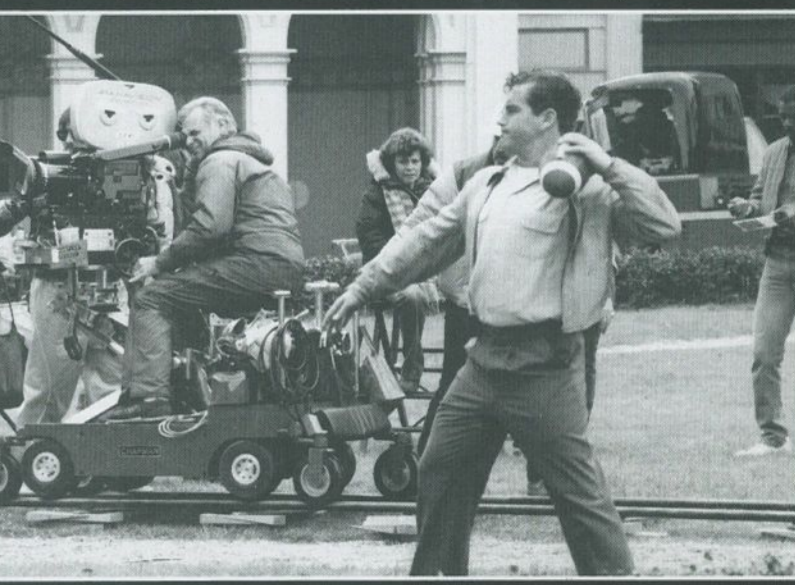
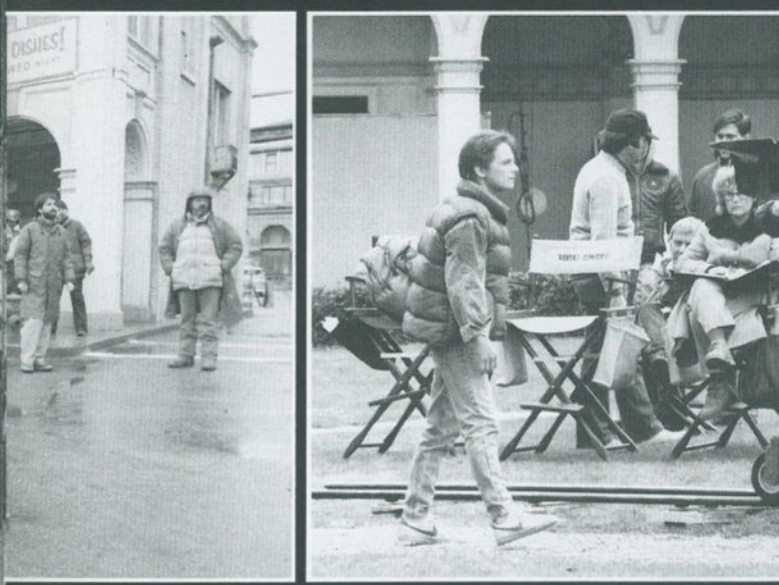


81年「レイダース／失われたアーク」以来、スピルバーグと組んで次々にヒット作をつくり出しているプロデューサーである。68年、ピーター・ボグダノヴィッチ監督のデビュー作「殺人者はライフルを持っていた」の製作スタッフとして参加したことがきっかけで映画界入り。同監督と組んで、「ラスト・ショー」(70)「ペーパー・ムーン」(74)などの名作を残し、独立後はオーソン・ウエルズ、マーチン・スコシージ、ウォルター・ヒル監督作品などの製作に加わり、79年、「ウォリアーズ」の製作総指揮を経てスピルバーグの作品に携わるようになった。近年は、SF大会や、ケーブル・テレビ用のドキュメンタリー映画「メイキング・オブ・ポルターガイスト」「メイキング・オブ・トワイライトゾーン」の監督も手掛けている。他に「レイダース／失われたアーク」では飛行士役、「ポルターガイスト」では隣人役として、スクリーンにも顔を出している。

製作総指揮 **KATHLEEN KENNEDY**
キャスリーン・ケネディ



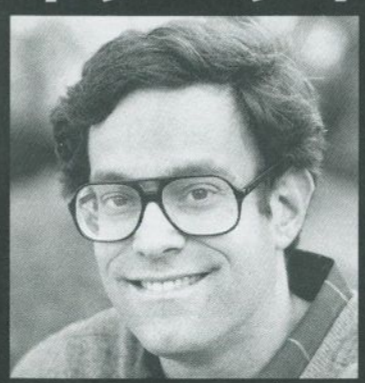
1977年、スティーブ・スピルバーグ監督の「未知との遭遇」を見て感動、仕事を捨ててスピルバーグの元に走ってきた。以来7年間彼の大切なパートナーとして重要な地位を築いてきた。1975年、サンディエゴ州立大学を卒業。在学中より地元のNBC系KCSTテレビ局でキャリアを積み、トーク番組のプロデューサーにまで昇格。しかしその地位を捨て、「1941」の製作助手として映画界にデビュー。81年「レイダース／失われたアーク」、82年「ポルターガイスト」ではフランク・マーシャルの製作補佐を担当するまでになった。83年、爆発的なヒット作「E.T.」で、夢にまで見たスピルバーグとの共同プロデュースが実現した。84年「トワイライトゾーン」、「インディ・ジョーンズ／魔宮の伝説」で製作補佐、「グレムリン」、「ファンタンゴ」そして今回「バック・トゥ・ザ・フューチャー」ではスピルバーグ、フランク・マーシャルと肩を並べ、製作総指揮としてその才能を充分発揮している。



監督・脚本 **ROBERT ZEMECKIS**
ロバート・ゼメキス

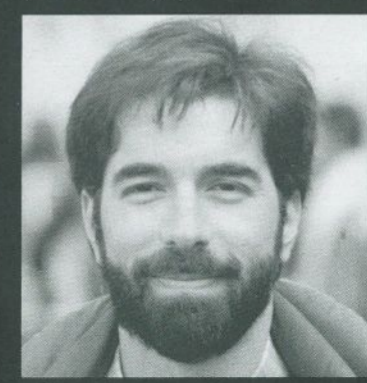
今日、最も有能な映画作家のひとりに数えられ、昨年公開された「ロマンシング・ストーン／秘宝の谷」は興行的な大成功を収めた。現在、34歳。シカゴで生まれ育ち、高校在学中に8ミリの短篇映画を撮り始める。ノーザン・イリノイ大学から南カリフォルニア大学(USC)の映画科に編入。73年、同科を卒業した。大学時代に製作したアカデミー受賞短篇映画「Field of Honor」をスピルバーグとジョン・ミリアスに見せたことがきっかけで、USC時代の同級生ボブ・ゲイル及びミリアスと共同で「1941」のシナリオを執筆した。78年「抱きしめたい」で監督デビュー。ビートルズ・マニアのティーンエイジャー達の姿をコミカルにノスタルジックに描き、話題を集めた。続いて、スピルバーグとミリアスのアイディアを基に、ボブ・ゲイルと共同執筆した「ユーズド・カー」を演出。この作品は、手ごわいことで有名な映画批評家ポーリン・ケールとビンセント・キャンビーから絶賛された。「バック・トゥ・ザ・フューチャー」は、ゼメキスとゲイルが80年にスクリプトを書きおろし、あためてきた企画だ。この映画の成功で、ゼメキスの才覚の素晴らしさが、より決定づけられた。

製作・脚本 **BOB GALE**
ボブ・ゲイル



カリフォルニアの雑誌が、今最もホットな若い脚本家のひとりである、と評したライターであり、またプロデューサーでもある。今回この「バック・トゥ・ザ・フューチャー」では、監督ロバート・ゼメキスと一緒に脚本を完成させ、製作も担当している。ミズリー州セントルイス郊外で生まれ、幼少時代を送って、トゥレーン大学に進学、エンジニアリングを専攻した。しかし映画に興味のあった彼は、間もなくフィルム関係のプログラムを選択。そしてついに南カリフォルニア大学(USC)映画スクールに転学し、本格的に映画について勉強した。ロバート・ゼメキスとの出会いはこの頃から始まる。才能ある若い2人は共同でシナリオを書き始め、やがて著名な製作者に注目されるようになった。2人がこの「バック・トゥ・ザ・フューチャー」のシナリオを書き始めたのは80年の秋だという。その他、「ユーズド・カー」、「1941」もこの2人のコンビによる脚本である。

製作 **NEIL CANTON**
ニール・カントン



「おかしなおかしな大追跡」、「ラスト・ショー」などで有名な監督、ピーター・ボグダノヴィッチのアシスタントとして長年経験を積み、その後も様々な映画を製作しているプロデューサーである。ニューヨーク出身。ワシントンD.C.のアメリカン・ユニバーシティを卒業した。その年の夏、ピーター・ボグダノヴィッチ監督と一緒に仕事を始めるようになる。「What's Up Doc?」、「ペーパー・ムーン」、「ニッケルオデオン」などを含む、ボグダノヴィッチ監督の日本の映画のアシスタントを務めた。そして2年間、オーソン・ウエルズ監督の「風の向こう側」の製作に取り組んだ。その後、ウォルター・ヒル監督の「ウォリアーズ」の製作を手掛けた。最新作は、「The Adventures Of Buckaroo Banzai」がある。



マイケル・J・フォックス

MICHAEL J. FOX

2ヶ月間、この映画とTVの撮影を掛け持ち、不平一つ言わず、超ハード・スケジュールをこなしたエネルギーなフォックスは、今年24歳。NBCテレビのヒット・シリーズ『Family Ties』の人気スターである。

カナダのバンクーバー生まれ。15歳の時、地元のTVシリーズ『Leo and Me』で芸能界入り。

アート・カーニー主演のTV映画の端役を演じた後、自分の意志でロサンゼルスに移り、まもなくウォルト・ディズニーの劇場映画『Midnight Madness』に出演した。

その後、批評家の絶賛を浴びたTVミニシリーズ『Palmerstown USA』を経て、人気TVシリーズ『ドクター・ドラーパー』『Lou Grant』『ファミリー・愛の肖像』にゲスト出演。TV映画の近作に『Poison Ivy』がある。

『Family Ties』のアレックス役はスムーズに回って来た仕事ではなく、彼を気に入ったキャスティング・ディレクターが渋るプロデューサーを説得したといういわくつきのもの。しかし、フォックスはたちまち全米の人気者となり、ファンレターの数は毎週500通を超えるという。

ホッケーが得意で、それを証明する殊勲の傷跡が自慢の種。現在、いくつかの慈善団体に関わり、積極的に活動している。脇役に『処刑教室』にも出演している。



クリストファー・ロイド

CHRISTOPHER LLOYD

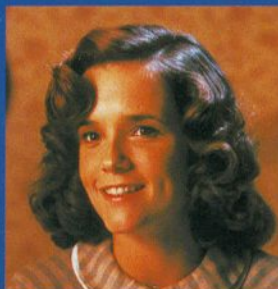
エキセントリックな科学者を演じるロイドは、映画、TV、舞台で活躍するベテラン俳優。魔術師としても知られている。

コネチカット州スタンフォード生まれ。14歳の頃から芝居に興味を持ち、2年後に夏期劇団で修業。19歳の時、ニューヨークに移り、ネイバーフッド・プレイハウス等で演劇を学んだ。

その後、ブロードウェイ、オフ・ブロードウェイの舞台に立ち、前者では『Happy End』でメル・ストリープと共演。後者では『Kasper』の演技で、73年度のドラマ・デスク賞を獲得した。『カッコウの巣の上で』でスクリーン・デビュー。それがきっかけで、映画界入りを決意し、76年、ニューヨークからロサンゼルスに居を移した。

主な出演作品に『Goin' South』『郵便配達は二度ベルを鳴らす』『メル・ブルックスの大脱走』『ミスター・マム』『スタートレック3/ミスター・スポックを探せ』がある。

またTVでは、長寿シリーズ『Taxi』の麻薬中毒のジム導師役で名を知られ、エミー賞も獲得している。ミニシリーズやTV映画の出演も数多い。

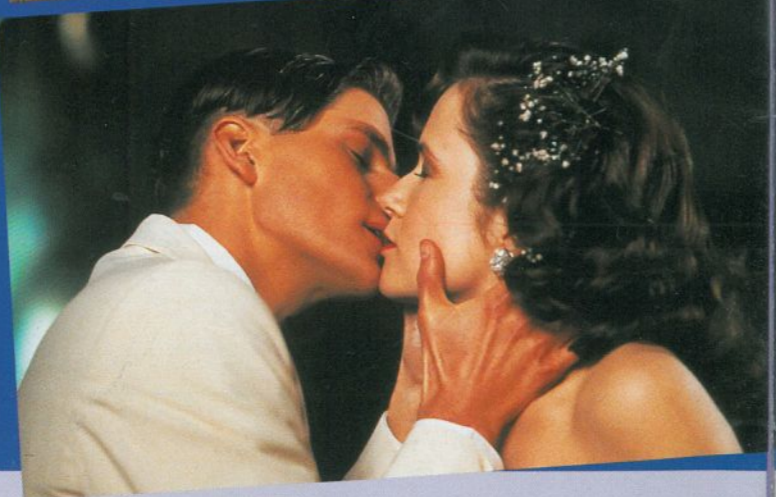


リー・トンプソン

LEA THOMPSON

17歳のお茶目な少女と、47歳のアル中気味の主婦の“二役”を演じるトンプソンは、1961年ミネアポリス生まれ。最も期待されている若手女優の1人だ。

幼い頃からバレエを学び、14歳の時、アメリカン・バレエ・シアターとサンフランシスコ・バレエ団の奨学金を獲得。プロのプリマドンナをめざしたが、20歳の時、女優になろうと決心。ニューヨークに行き、1年後には『ジョーズ3』の端役を貰った。2作目『All the Right Moves』では、トム・クルーズのガールフレンド役も演じ、批評家及び映画ファンの注目を浴びる。それが引き金となり、『若き勇者たち』『Wild Life』に続けて出演した。最新作の、ジーン・シモンズ主演、のイギリス映画『Yellow Pages』に出演している有望な女優のひとりだ。



クリスピン・グローバー

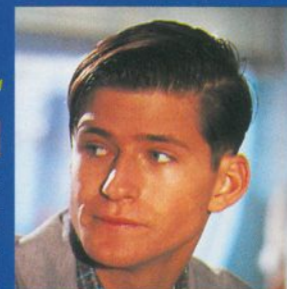
CRISPIN GLOVER

ジョージ役に抜擢され、狂喜したというグローバーにとって、これが5度目の出演映画。最近ではニック・ノルティ主演の『りんご白書86』で、警官に撃たれる反抗的な高校生の役が印象深い。

ニューヨーク生まれの20歳。父親は俳優ブルース・グローバー。母親は元ダンサー兼女優という芸能一家である。

彼が4歳の時、一家揃ってロサンゼルスに引っ越す。グローバーは小学生の時には早くも舞台に立っていた。13歳の時、エージェントにつき、『サウンド・オブ・ミュージック』のロサンゼルス公演では、トラップ一家の子供の1人を演じる。高校在学中は、有名な演劇コーチの許で芝居の勉強を続けた。

高校卒業後、人気TVシリーズ『Hill St. Blues』『Family Ties』『ハッピー・デイズ』等に顔を見せた。他の出演映画に『新・13日の金曜日』がある。



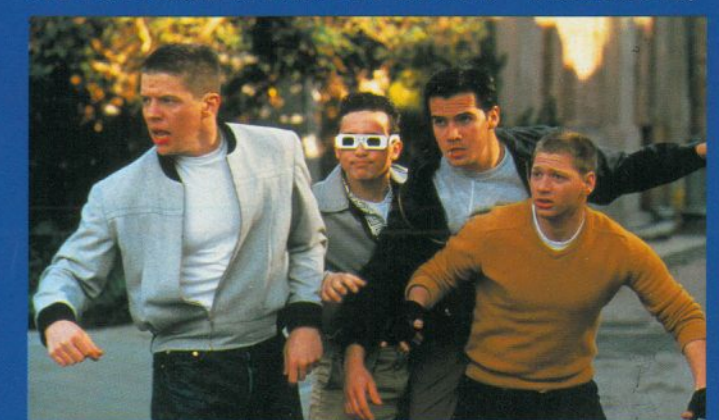
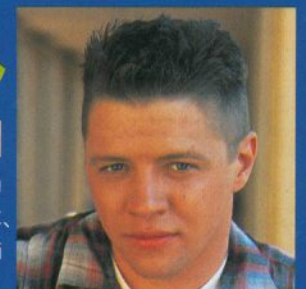
トーマス・F・ウィルソン

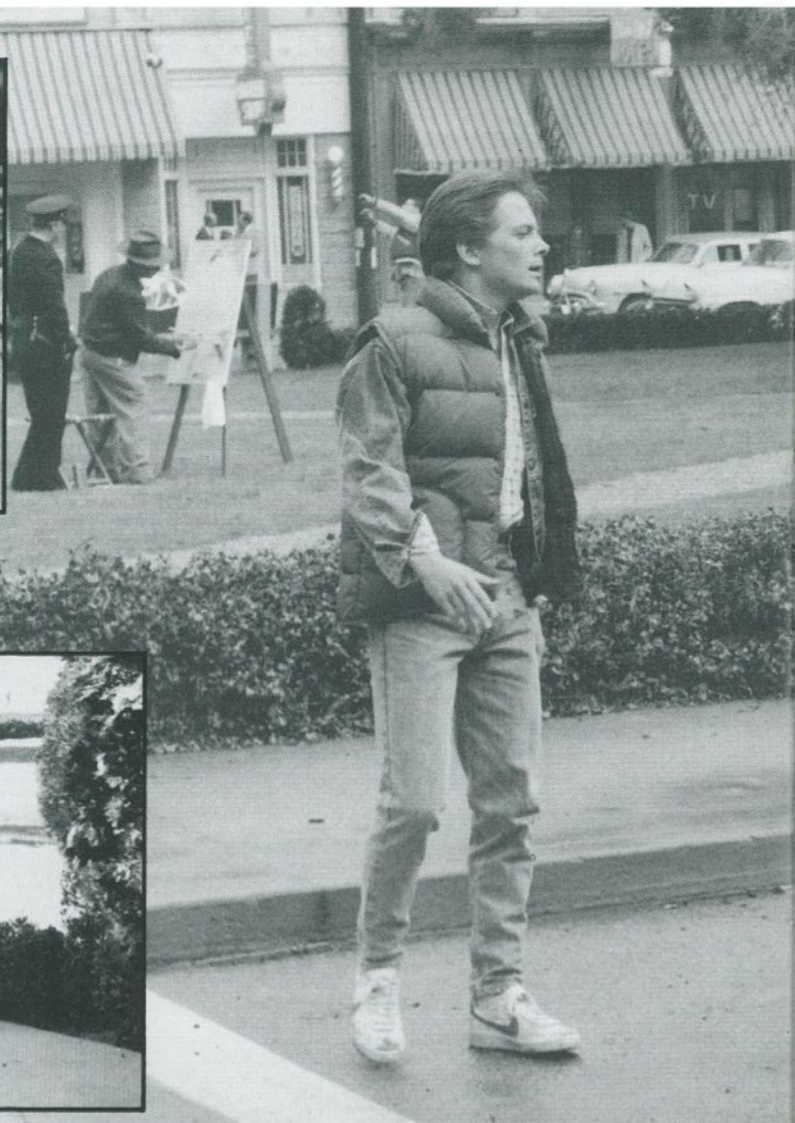
THOMAS F. WILSON

30年後も全然変わっていない55年当時の高校のガキ大将役のウィルソンは、この映画でスクリーン・デビューを飾った。

フィラデルフィア生まれ。高校時代に芝居に取り憑かれ、まもなく夏期劇団に参加。やがて、友人達とコメディ・クラブの舞台に立つようになり、スタンダップ・コミックとしての才能を買われた。

その後、ロサンゼルスに行き、クラブ“コメディ・ストア”の人気者になった。現在も、時折、このクラブのステージに立っている。





30年の時間差が醸し出す面白さ

菅見有弘

とにかく、脚本がとてもよく出来ている。余儀なくタイム・トラベルをした先が未来ではなく、過去。その過去からどのような方法で無事に未来（すなわち現在）に帰還できるかというサスペンス。だから「バック・トゥ・ザ・フューチャー」というタイトルなのだ。そして、もし過去が違うものだったら、今のマーティは存在しなくなってしまうのではないかという興味。

もっとわかりやすくいえば、30年前にはまだマーティの父と母はハイスクールの学生であり、結婚していなかった。それどころか、おたがいに知りもしなかった。その2人をなんとか結びつけたいことには自分も姉も生まれないわけだ。

しかもくあいが悪いことに、そのころは高校生であるマーティのママが、30年後の未来からやってきた自分の息子とは知らずにマーティを好きになってしまう。事態がそのまま進展してしまえば未来、すなわち現在が変わってしまう、そんなことになっては大変だというわけで、息子がなんとかママとパパを結びつけようとする。

それにホラー映画でおなじみのマッド・サイエンティストの役割を演じる博士をめぐる

サスペンスもある。彼は現在の場面でリビアの過激派に撃ち殺されてしまう。そこで、過去へ旅したマーティは博士に殺されないでほしいと願い、手紙を残す。だが……というわけで、そのへんも愉快である。

こうしてサスペンスと笑いにあふれ、一種ホーム・ドラマふうでもあるSFがくりひろげられる。それにキャスティングがとてもいい。マーティ役のマイケル・J・フォックスには少年にしてはワケ知りといったような頼もしい魅力があって、若い女性の人気を得るであろうが、ほくには博士役の奇優クリストファー・ロイドと、パパ役のクリスピン・ローバーがたまらなくおかしかった。

これまでもタイム・トラベルやタイム・スリップした先が過去であるという映画はいくつかあった。「ファイナル・カウントダウン」や「フィラデルフィア・エクスペリメント」は第二次大戦中の時空の裂け目に主人公や空母が入りこんでしまう話だった。それぞれ面白くはあったが、過去が変われば現在が違うものになっているわけだから、それをどう解決させるのかという、その解決部がいまひとつすっきりせず終わっていた。それはタイム・トラベルものの宿命であるのだが、

「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の作者たちはそれを知っていて、というか逆手にとって楽しみながらつくっているのである。

さすがにスピルバーグが認めているロバート・ゼメキスとボブ・ゲイルのコンビだけのことはある。この2人の名を知ったのは「1941」においてであるが、それはそのシナリオに惚れこんだスピルバーグが自ら演出を買って来た作品だ。ところがスピルバーグはコメディも大好きなせいで、笑いの演出はあまりうまくはいえない。そこで、その後スピルバーグはコメディの分野はゼメキス&ゲイルにまかせ、自分は製作総指揮者として彼らの才能を生かそうとしているのであり、それが「抱きしめたい」、「ユーズド・カー」、そしてこの映画である。

それらの作品で演出も兼ねているゼメキスには「ロマンシング・ストーン」というヒット作もあるが、そのシナリオは新人の女流脚本家ダイアン・トマスの書いたものであり、そういう意味でゼメキス作品とはひと味ちがっている。もちろん、快テンポで歯切れよく笑いとサスペンスを盛り上げていく演出はゼメキスならではのものであるが、

行き着いたのが1955年、今からたった30年

前の過去であるということもとてもいい発想だ。ほくのようにそのころすでに学生であった世代にとっては遠くて近き30年昔なのである。

マーティは、未来のママにあたる高校生から「あなたの名前はカルバン・クラインなのね」と言われ、きょとんとする場面がある。「だってジーンズにそう書いてあるわ」なるほど、彼の着けているジーンズのメーカーが1980年代の現在では誰でも知っているカルバン・クラインなのだが、50年代にはそんなブランド商品はなかったし、それに衣服類にでかかどブランド名を入れたりするデザインは当時定着していなかったのだ。マーティのダウン・ジャケットのことをライフ・ジャケット（救命胴衣）と思っているのも笑わせる。

ゼメキス&ゲイルがなぜ1955年を選んだのかといえば、アメリカ人がグッド・オールド・デイズにタイム・スリップしてみたいという願いの現れなのかもしれないと思う。アメリカにまだ夢のあった時代なのだ。

舞台となっているのは、北カリフォルニアにあるヒル・バレーという架空の町で、時計台のある広場を中心にした町の造作は昔も今

もほとんどおなじであるが、1955年には草木が茂り、コーヒー・ショップ、レコード店、旅行代理店、花屋、酒屋など、そのころ流行していた青緑色に塗られたこざい店々が並んでいる。もちろんそれらのうち1985年にも残っている店もあるが、こざいではなくどこか汚れ、近年つけられた看板は毒々しいデザインだ。ポルノ映画館やアダルト書店なども昔見られなかった光景だ。

手元にあるアメリカの年表を見ると、1955年は「ディビー・クロケットとロックン・ロールの年」とある。アラモの砦の戦いで有名なディビー・クロケットの物語がディズニーによって映画化されて大ヒットしたのであり、そのことでもアメリカに夢のあった時代であるのは明らかであるが、一方、ロックン・ロールの夜明けの年であり、エルビス・プレスリーが「ハートブレイク・ホテル」を大ヒットさせて、スーパースターになる1年前のことだったのである。マーティはダンス・パーティーで1曲披露するハメになって、チャック・ベリーばりに歌い、みんながびっくりすると、「君たちの子供にはわかるよ」というのは、だからとても愉快だ。

その年はまた、「1955. 9. 30」という数字

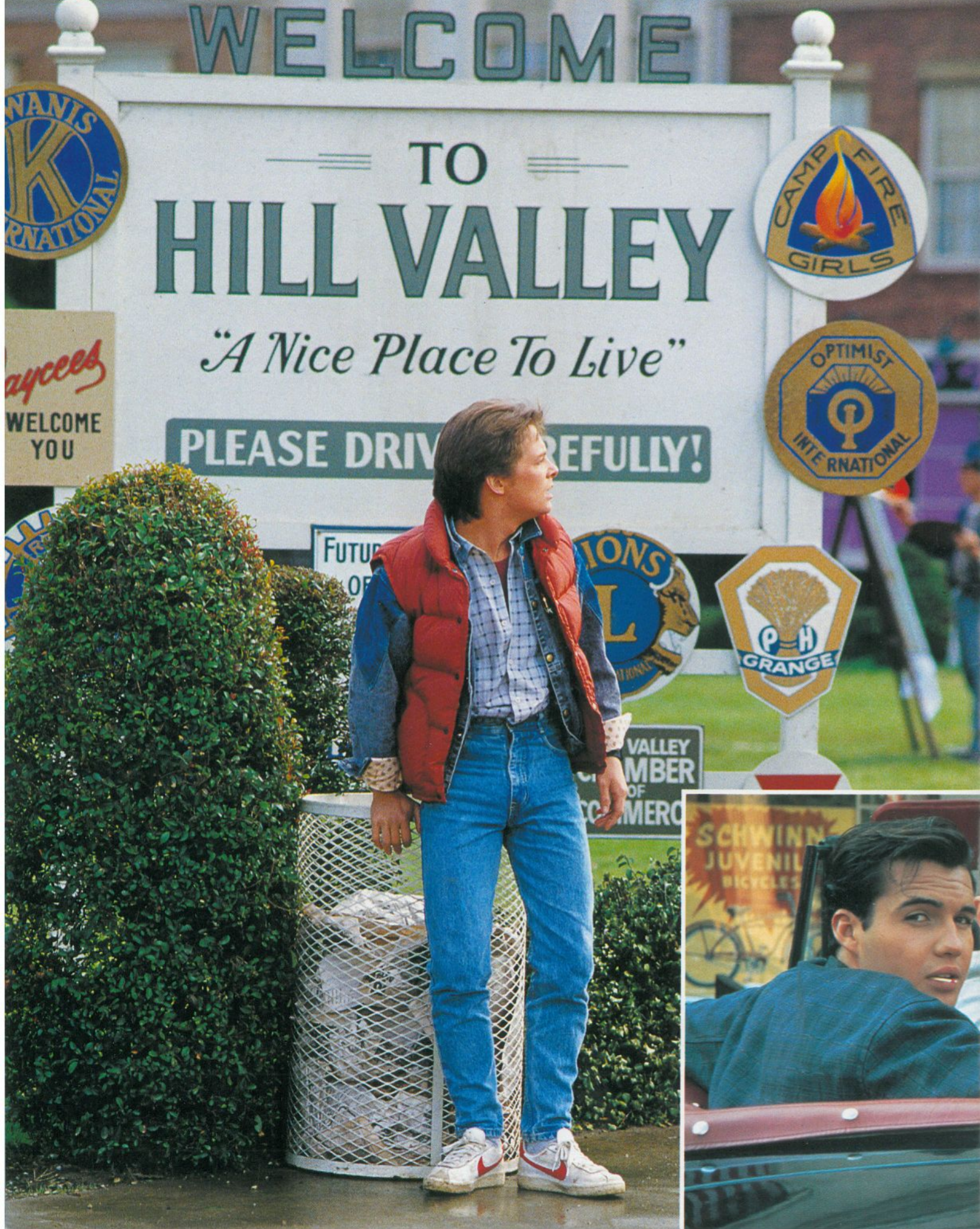
でも記憶に残っている。スターとして人気を得たばかりのジェームズ・ディーンが愛車ボルシェ・スパイダーを飛ばして事故死したのが9月30日なのだ。彼の「エデンの東」「理由なき反抗」、それにディーン作品ではないが、「暴力教室」の登場などでもわかるように、ディーンエイジャーがはじめて発言力を持った年ともいわれている。

マーティが1985年には「ロナルド・レーガンが大統領だ」と言っても博士がまるで信じない場面も大笑いしてしまった。「デタラメ言うな。だったら、ジェーン・ワイマンがファースト・レディで、ジェリー・ルイスが副大統領か？」

なるほど、町ではレーガン主演の「パファロー平原」という西部劇を上映しているのだから、信じると言っても無理だろう。30年後には、そのレーガンが大統領となり、黒人の市長が誕生しているのだから、この映画の背後にはアメリカの歴史の面白ささえ感じちゃうのだ。

この映画の発所の一つは、1950年代と80年代の対比である。「タイム・トラベルで楽しいのは、過去に戻って、優越感を味わうことができることだ。なぜなら、既に何がどこで起こるか様々な前知識を持っているからだ。我々は、知っておく必要のある歴史をすべて、最初の10~15分の中に入った。…後は、観客の御随意に、というわけさ」と、ポップ・ゲイルは語る。

現 在に生きる少年を1955年にタイム・スリップさせたことについてゼメキスは次のように説明する。「映画の中で、タイム・トラベルを楽しいアドベンチャーにするには、観客を過去に連れ戻すことだと思う。観客は過去の歴史を知っているからね。ゲイルと私が1955年を選んだのは、50年代は何となく思い出すのが心地よい時代だからだ」



- **デイビー・クロケットが大ヒット**
映画「鹿皮服の男」がヒットし、主人公デイビー愛用の帽子が流行（ローレンの弟もかぶっている）。レコード店頭シーンでも「新語到着」のポスターが出ている。日本でも映画、主題歌がヒットした。
- **ジャッキー・グリーン・ショー**
85年に再放送でやっていた番組が、55年ではもちろん新番組。ローレンの家族と一緒に「ジャッキー・グリーン・ショー」を見ていて、話の先をしゃべるマーティに、皆、げげんな顔をするが、これは前知識の面白さだ。
- **ロナルド・レーガン主演映画**
レーガン大統領はかつて、B級西部劇スターだった。ヒル・バレーの映画館で、彼主演の「パファロー平原」が上映中。マーティが「この人が大統領に——」と言っても冗談としか思われぬのは当然だろう。
- **黒人ウェ이터が市長選に**
マーティが通学する途中、市長選挙カーに出会うが、その時の黒人がコーヒー・ショップでモップ片手に働いていた。「将来、ヒル・バレーの市長」とマーティに言われ、その気になって床を掃除するシーンが面白い。
- **会話が通じないコーヒー・ショップ**
今はダイエット飲料が当たり前だが、この映画のコーヒー・ショップでは「ペプシ・フリー」も「タブ」も、店員には何のことかわからず、「ただ飲み」や「勘定書」と勘違いされ、結局、ブラック・コーヒーが出てくる可笑しさ。
- **彼の名は「カルバン・クライン」**
有名ブランドやデザイナーのネームをアパレル製品に入れるようになったのは最近のこと。ローレンがマーティの下着にあった「カルバン・クライン」のネームを見て、彼の名前だと思っても当たり前？
- **救命胴衣と間違えられたスタイル**
ダウン・ベストを着たマーティを見て、ヒル・バレーの人達は「船が転覆したのか」とか「水兵さん？」と尋ねるが、説明が面倒なので「沿岸警備隊です」と答えたりするあたり、ファッションの推移が見られる。
- **3Dメガネの流行**
ピフの取りまきの1人（役名も「3D」）がにかけているのが、3D(立体)映画用メガネ。ハリウッド映画はTVに対抗するために、立体映画を作ったが、結局は50年代を象徴するように一時の流行にすぎなかった。
- **SFブームの到来**
50年代はSFブームの始まりで、SF映画も定着。マーティのパパもSF小説を書いていたSF少年だった。「副大統領はジェリー・ルイスか？」というセリフも、ルイスが最大のSF好きだったところから出たギャグ。

プロダクションノート

'55年と85年の時間的並列は、この映画の製作に携わる者全員に、類のない挑戦の場を与えた。プロダクション・デザイナーのローレンス・ポールと彼のチームは、ユニヴァーサル・スタジオの敷地の大半を使い古風な趣きを持ち、しかも活気のある55年の北カリフォルニアの小さな町「ヒル・バレー」を造り上げた。続いて、今度は85年の設定で、町が郊外にも広がるなど、時の経過を感じさせる工夫を施さなければならなかった。ポールは「ブレードランナー」で未来世界を造り、アカデミー賞にノミネートされたが、50年代に挑戦するのは今回が初めて。彼は次のように語る。

「最初にライフ誌やルック誌を徹底的に調べ、その当時の写真を大いに活用した。雰囲気や視覚的コンセプトを掴むために、昔の高校卒業アルバムにじっくり目を通したりもした」

ポールが造った町の広場は草木が茂り、レコード店、旅行代理店、花屋、酒屋等、紛れもない50年代流行の青緑色に塗られた小さな美しい店々に囲まれている。

その時代の車も重要な要素となった。輸送スタッフは、適当な車を選ぶのに苦慮した。55年当時、外車はまだ出回っていなかったし、最新モデルは当然使えなかった。その結果、40年代後半と50年代初期のクラシックカーが利用されることになった。

50年代の町の広場の撮影に何週間も費やした後、撮影隊はロサンゼルス近郊ロケに移った。その間、ポール及び彼のチームは、ロケ隊が2週間半後に戻って来るまでに、50年代の町を85年代のものに変える作業に従事した。ポールはこのように説明している。

「我々が町の広場に施した変化は、過去30年間に実在の小さな町に起こった変化と殆ど同じだ。小さな町の大半では、商売繁盛した商店主が中心部から離れた郊外に建てられたショッピング・センターに店舗を移し、その結果町の中心部が悪化の路を辿っている。芝生に覆われた市庁舎は社会事業局の駐車場に変貌してしまった。花屋や旅行代理店は今でもあるが、新たにポルノ書店や質屋が加わっている。酒屋は今やエアロピクス・ジムだ」

ポールが手掛けた他の対比的なセットは、ブラウン博士のガレージ兼実験室である。映画の中で、マーティが初めて博士の家を訪れる(85年)場面では、それは交通量の激しい道路沿いに建ち、ハンバーガー・ショップとオフィス・ビルを足して2で割り、縮小したような質素な佇まいを見せている。しかし、55年に足を踏み入れたマーティが、ブラウン博士(30歳若返る)の居所をようやく見つける場面では、家の住所は85年のままだが、家自体は草木に覆われた坂道に囲まれた大きな邸宅である。

80年代のガレージは、カリフォルニア州バーバンクのヴィクトリー通りに一時的に造られたが、撮影終了後、直ちに解体された。ブラウン博士の住居の外面及び内部は、「キャンブル・ハウス」並びに「ブラッカー=ヒル・ハウス」という名で知られるバサデナの2つの建築物が用いられた。

ヒル・バレー高校の舞台となったのは、カリフォルニア州ウィットニー市にある高校だが、「海面下の魅惑」と名付けられた55年の高校ダンスパーティの舞台となる体育館は、ハリウッドの住宅街にあるファースト・プレスピテリアン教会が利用された。色とりどりの装飾が施された体育館には、150名のエキストラが集まったが、全員、衣装デザイナーのデボラ・スコットが選んだフルレングスのタフタ・スカートやバギー・スーツに身を包んだ出演であった。

学校の体育館のオーディションで、演奏するマーティに向かって、「だめだ、音がでかすぎる！」と言って先生が立ち上がる。その先生が何とヒューイ・ルイス本人だ。

人気ロック・グループ、ヒューイ・ルイス・アンド・ザ・ニュースは、この映画のために2曲のオリジナル・ソングを手掛けた。彼等のLP「Sports」は現在までに全米で500万枚以上の売上げを記録している。ルイスは、映画の冒頭の曲「パワー・オブ・ラブ(Power of Love)」エンドタイトル曲「Back in Time」を作詞作曲した。

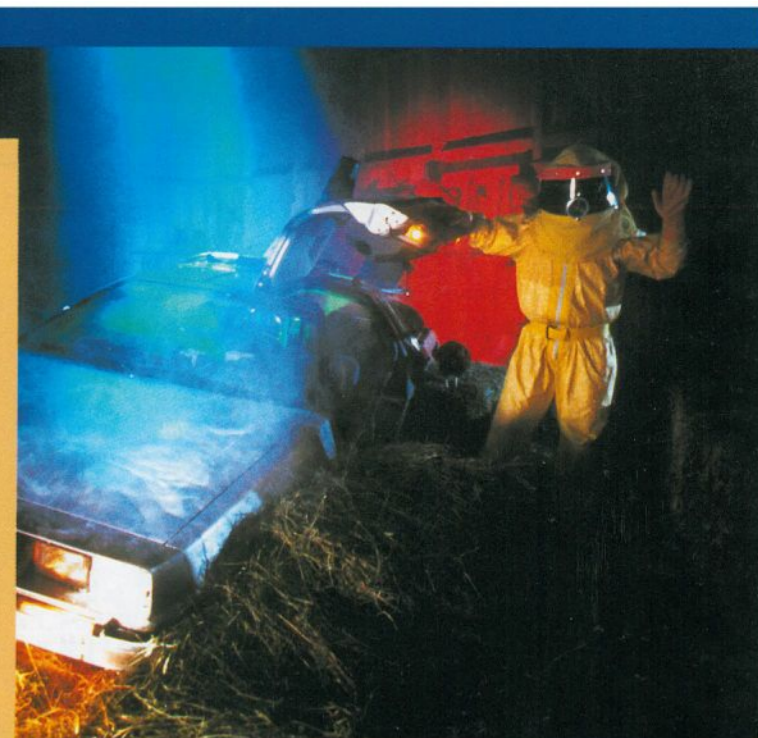
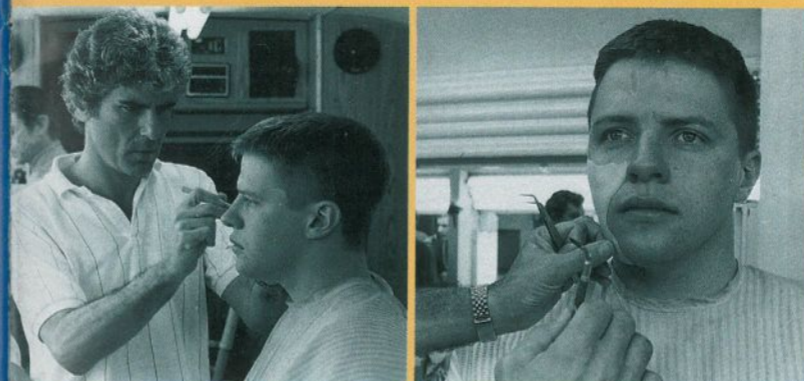
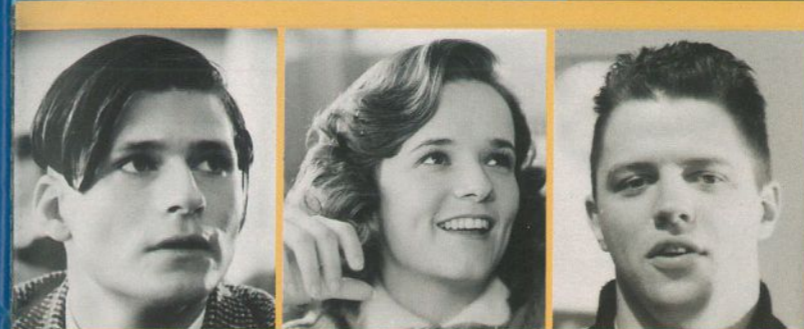
スタッフの中で、連日、最も大変なチャレンジを強いられたのは、おそらくメイクアップ・アーティストのケン・チェイスだろう。彼は、3人の主要登場人物を10代から大人に老けさせるチャレンジを強いられた。彼は3人の俳優を17歳から47歳に老けさせなければならなかった。リー・トンプソン演じる浮気っぽい美少女ロレーン・ベインズは、30年後に大酒飲みで神経質なマクフライ夫人(マーティの母親)になり、体重も30ポンド増えている。従って、トンプソンの体型も変容させねばならなかった。マーティの父親役に扮するクリスピン・グローバーも、55年当時のガキ大将に扮するトーマス・F・ウィルソンも同様に30歳老ける必要があった。

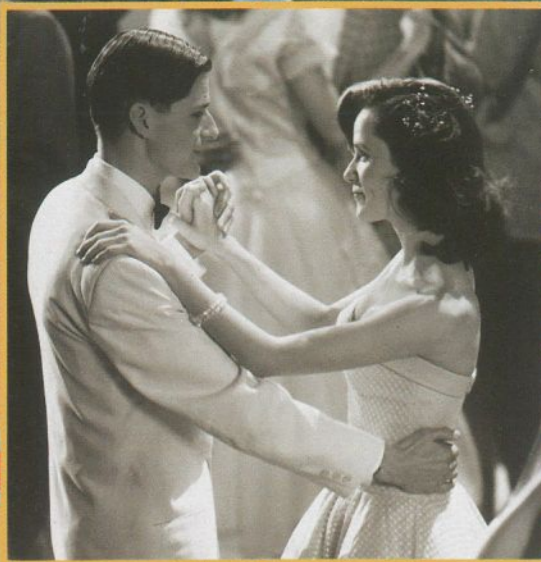
TVミニシリーズ「ルーツ2」で、やはり老化のメイクアップを手掛けたチェイスは、次のように説明する。

「単に技術上の理由から、老人より40代に見える方が遥かに難しい。リー・トンプソンを100歳に見えるよう命じられたとしたら、顔全体をラテックス・フォームで覆い、皮膚を残らず隠してしまえばいい。皮膚のきめが同じなので、この技法は容易だ。しかし今回、彼女の外観をそれほど劇的に変えることができないので、フォーム・ラバーを用いなければならなかった。当然、本当の皮膚のきめと異なるため、非常に厄介だ。俳優達が30歳老けたことを観客に認めさせることが重要だが、老化を強調するためにメイクアップやかつらに過度につければ逆効果になってしまう」

俳優達は40代のメイクアップを施してもらうのに毎日3時間半も椅子に座り続けなければならなかった。しかし、リー・トンプソンは、その間、役になりきる心の準備ができるので、辛いよりむしろ有益だったと次のように語っている。

「演技の大半は準備段階にあると思います。メイクアップをつけ、衣裳を着て、除々に自分を役の中にはめて行くのです。一つ一つゆっくり進行して行くので、それだけ役に近づくことができるし、心理的にも47歳のロレーンに変わることができます」





THE CAST

Marty McFly MICHAEL J. FOX
 Dr. Emmett Brown CHRISTOPHER LLOYD
 Lorraine Baines LEA THOMPSON
 George McFly CRISPIN GLOVER
 Biff Tannen THOMAS F. WILSON
 Jennifer Parker CLAUDIA WELLS
 Dave McFly MARC McCLURE
 Linda McFly WENDIE JO SPERBER
 Sam Baines GEORGE DICENZO
 Stella Baines FRANCES LEE MCCAIN
 Mr. Strickland JAMES TOLKAN
 Skinhead JEFFREY JAY COHEN
 3-D CASEY SIEMASZKO
 Match BILLY ZANE
 Marvin Berry HARRY WATERS JR.
 Goldie Wilson DONALD FULLILOVE
 Babs LISA FREEMAN
 Betty CRISTEN KAUFFMAN
 Clocktower Lady ELSA RAVEN
 Pa Peabody WILL HARE
 Ma Peabody IVY BETHUNE
 Sherman Peabody JASON MARIN
 Peabody daughter KATHERINE BRITTON
 Milton Baines JASON HERVEY
 Sally Baines MAIA BREWTON
 Dixon COURTNEY GAINS
 Terrorist RICHARD L. DURAN
 Terrorist Van Driver JEFF O'HACO
 Scooter Kid #1 JOHNNY GREEN
 Scooter Kid #2 JAMIE ABBOTT
 Lou NORMAN ALDEN
 Cop READ MORGAN
 Bystander #1 SACHI PARKER
 Bystander #2 ROBERT KRANTZ
 Guy #1 GARY RILEY
 Girl #1 KAREN PETRASEK
 Starlighters TOMMY THOMAS,
 GRANVILLE "DANNY" YOUNG
 DAVID HAROLD BROWN, LLOYD L. TOLBERT
 Pinheads PAUL HANSON
 LEE BROWNFIELD, ROBERT DeLAPP
 Stunt Coordinator WALTER SCOTT
 Stunts RICHARD E. BUTLER, CHARLIE CROUGHWELL,
 LOREN JANES, MAX KLEVEN, BERNIE POCK,
 SPIRO RAZATOS, ROBERT SCHMELZER,
 JOHN-CLAY SCOTT, PER WELINDER, BOB YERKES

THE CREDITS

Directed by ROBERT ZEMECKIS
 Produced by BOB GALE and NEIL CANTON
 Written by ROBERT ZEMECKIS & BOB GALE
 Executive Producers STEVEN SPIELBERG
 FRANK MARSHALL, KATHLEEN KENNEDY
 Director of Photography DEAN CUNDEY
 Production Designed by LAWRENCE G. PAULL
 Edited by ARTHUR SCHMIDT
 HARRY KERAMIDAS
 Music by ALAN SILVESTRI
 Casting by MIKE FENTON, C.S.A.
 JANE FEINBERG, C.S.A.
 JUDY TAYLOR, C.S.A.
 Unit Production Managers DENNIS E. JONES
 JACK GROSSBERG
 First Assistant Director DAVID MCGIFFERT
 Second Assistant Director PAMELA EILERSON
 Visual Effects Produced At
 INDUSTRIAL LIGHT & MAGIC
 MARIN COUNTY, CALIFORNIA
 Makeup Created By KEN CHASE
 Art Director TODD HALLOWELL
 Set Decorator HAL GAUSMAN
 Lead Person ART SMEDLEY
 Production Illustrators ANDREW PROBERT
 DICK LASLEY
 Set Designers JOSEPH E. HUBBARD
 MARJORIE STONE McSHIRLEY, CAMERON BIRNIE
 Property Master JOHN ZEMANSKY
 Assistant Property Masters "DANGEROUS" BOB WIDIN
 JOE PFALTZGRAF
 Construction Coordinator ERNIE DEPEW
 Paint Foreman KIRK D. HANSEN
 Scenic and Graphic Artist AL GAYNOR
 Camera Operator RAYMOND STELLA, S.O.C.
 First Assistant Camera CLYDE E. BRYAN
 Second Assistant Camera STEPHEN TATE
 Still Photographer RALPH NELSON

Script Continuity NANCY B. HANSEN
 Production Sound Mixer WILLIAM B. KAPLAN
 Boom Operator EARL F. SAMPSON
 Utility Sound DARC VEBBER
 Costume Designer DEBORAH L. SCOTT
 Key Costumer JULIE STARR DRESNER
 Men's Costume Supervisor BRIAN CALLAHAN
 Hair Stylist DOROTHY BYRNE
 Chief Lighting Technician MARK D. WALTHOUR
 Assistant Chief Lighting Technicians THOM MARSHALL
 MICHAEL PAUL OREFICE
 Electrical Lighting Technicians GEORGE LaFOUNTAIN
 STEVEN R. MATHIS, ANTHONY WONG
 Key Grip RONALD T. WOODWARD
 Best Boy Grip DAN COOPER
 Dolly Grips DICK BABIN
 "WILD" WILL MacLEAN
 Grips MICHAEL SALTS
 CHUCK SCHRAY, DIC ALEXANDER
 Special Effects Supervisor KEVIN PIKE
 Special Effects Foremen NEIL SMITH
 DAVID WISCHNACK
 Special Effects STEVE SUITS
 KIMBERLEY PIKE, SAM ADAMS
 RICHARD CHRONISTER, WILLIAM KLINGER
 DeLorean Time Travel Consultant RON COBB
 DeLorean Construction Coordinator MICHAEL SCHEFFE
 Music Supervisor BONES HOWE
 Post Production Supervisor ARTHUR REPOLA
 Assistant Film Editors PETER N. LONSDALE
 BARBARA DIXON
 Supervising Sound Editors CHARLES L. CAMPBELL
 ROBERT RUTLEDGE
 Sound Editors LARRY CAROW, M.P.S.E.,
 SAMUEL C. CRUTCHER, M.P.S.E.
 JANICE HAMPTON, SCOTT HECKER, M.P.S.E.
 CHUCK NEELY, BRUCE RICHARDSON,
 FRED STAFFORD, JERRY STANFORD
 Apprentice Sound Editor SONNY PETTIJOHN
 Foley by JOHN ROESCH
 Supervising ADR Editor LARRY SINGER, M.P.S.E.
 ADR Editor ALAN NINEBERG, M.P.S.E.
 Music Editor KENNETH KARMAN
 Music Software DICK BERNSTEIN
 Assistant Music Editor DEBORAH ZIMMERMAN
 Assistant Sound Editor LARRY FALLICK
 Assistant ADR Editors ROD ROGERS
 GLENN T. MORGAN
 Apprentice Film Editors ROGER JAEP
 CHARLES SIMMONS
 Rerecording Mixers BILL VARNEY
 TENNY SEBASTIAN II, ROBERT THIRLWELL
 Music Scoring Mixer DENNIS SANDS
 Orchestrations by JAMES CAMPBELL
 Choreographer BRAD JEFFRIES
 DGA Trainee CONCETTA RINALDO
 Production Coordinator MAUREEN OSBORNE-BEALL
 Assistant Production Coordinator ROB STEVENS
 Production Associates STEVEN TALMY, DIANA L. HAYES
 ANTHONY GIBSON, JEFFREY R. COATES
 Location Manager PAUL PAV
 Production Controller BONNE RADFORD
 Production Accountant LEANNE MOORE
 Assistant Accountants LYNN D. EZELLE
 ROBERT R. DRANEY, ANN FURIA
 Transportation Manager GENE SCHWARTZ
 Transportation Coordinator JOHN FEINBLATT
 Transportation Captain BOB R. CORNELL
 Transportation Captain/Picture Cars TOM GARRIS
 Craft Service RAMON B. PAHOYO
 Standby Painter JIM PASSANANTE
 Animal Handlers ROBERT WEATHERWAX
 RICHARD CAULKINS
 Unit Publicist MARSHA ROBERTSON
 Assistant to Mr. Zemeckis GAIL OLIVER
 Assistant to Mr. Canton BABETTE T. GORMAN
 Assistant to Mr. Gale EILEEN OMAE
 Assistant to Mr. Spielberg JULIE MOSKOWITZ
 Assistant to Mr. Marshall MARY T. RADFORD
 Assistant to Ms. Kennedy KATE BARKER
 Assistant to Mr. Repola JUDY THOMASON
 Negative Cutter DONAH J. BASSETT
 Color Timer TERRY HAGGAR
 Opticals by MOVIE MAGIC
 Title Design by NINA SAXON
 Second Unit Director FRANK MARSHALL
 Second Unit Director of Photography RAYMOND STELLA
 Second Unit First Assistant Director MITCHELL BOCK

"THE POWER OF LOVE"
 Performed by HUEY LEWIS AND THE NEWS
 Courtesy of Chrysalis Records, Inc.
 Written by Huey Lewis and Chris Hayes
 Published by Hulex Music.
 Administered by Red Admiral Music, Inc.

"BACK IN TIME"
 Performed by HUEY LEWIS AND THE NEWS
 Courtesy of Chrysalis Records, Inc.
 Written by Huey Lewis and Chris Hayes
 Published by Hulex Music.
 Administered by Red Admiral Music, Inc.

"HEAVEN IS ONE STEP AWAY"
 Performed by ERIC CLAPTON
 Produced by Phil Collins
 Courtesy of Warner Bros. Records
 By arrangement with Warner Special Products

"TIME BOMB TOWN"
 Performed by LINDSEY BUCKINGHAM
 Produced by Lindsey Buckingham and Richard Dashut
 Courtesy of Elektra Records

"MR. SANDMAN"
 Performed by FOUR ACES
 Courtesy of MCA Records

"BALLAD OF DAVY CROCKETT"
 Performed by FESS CRACKETT
 Courtesy of Disneyland-Vista Records

"THE WALLFLOWER
 (DANCE WITH ME HENRY)"
 Performed by ETTA JAMES
 Produced by Maxwell Davis
 Courtesy of Kent Records

"NIGHT TRAIN"
 Performed by MARVIN BERRY AND THE STARLIGHTERS
 Produced by Bones Howe

"PLEDGING MY LOVE"
 Performed by JOHNNY ACE
 Courtesy of MCA Records, Inc.

"EARTH ANGEL (WILL YOU BE MINE)"
 Performed by MARVIN BERRY AND THE STARLIGHTERS
 Produced by Bones Howe

"JOHNNY B. GOODE"
 Performed by MARTY McFLY with the STARLIGHTERS
 Produced by Bones Howe

ORIGINAL SOUNDTRACK AVAILABLE ON
 MCA RECORDS AND CASSETTES

SPECIAL THANKS:
 Mark Campbell, Tim May, Stephen Semel
 Photographic Illustration Company, Burbank, California
 Group IV Scoring Facility

"HONEYMOONERS" excerpt used with permission of CBS INC.
 Film clip courtesy of VIACOM ENTERPRISES

PANAFLEX® CAMERA AND LENSES BY PANAVISION®
 COLOR BY TECHNICOLOR®
 DOLBY STEREO®



SOUVENIR PROGRAM STAFFS

Chief Editor SIMON TSE
 Editor MITSURU SATO
 Designer MITSUO NAKAMURA
 Assistant Editor KAZUYA MORI
 Production Assistants YOSHINORI KONNO
 NOBUKO AOYAMA
 Special thanks to BRAD GLOBE, BOB GALE, MICHAEL J. FOX and YUICHI TANUMA

We thank you for the cooperation of NANCY CUSHING-JONES, IRA FRIEDMAN, DENISE DURHAM, ARIHIRO HAZUMI, JUNKO ITO and the staffs of AMBLIN ENTERTAINMENT, MERCHANDISING CORPORATION OF AMERICA, INC., UIP JAPAN, TOHO CO, LTD., and STIK INTERNATIONAL INC. for making this publication possible.

